

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44



本機を使っていて困ったときやわからないことがあったときに使うマニュアルです。

ソフトウェアアップデートの概要

[Android 12へのアップデート後の変更点](#)

Xperia 10 III Lite の特長

音質設定

- └ [圧縮音源を高音質で再生する \(DSEE Ultimate\)](#)

サイドセンス

- └ [サイドセンス機能をオン/オフする](#)
- └ [サイドセンス機能を使う](#)
- └ [サイドセンス機能の設定を変更する](#)

ポップアップウィンドウ

- └ [ポップアップウィンドウを使う](#)

分割画面

[分割画面を使う](#)

スマート着信操作

[画面をタッチせずに通話を操作する（スマート着信操作）](#)

準備する

[このヘルプガイドについて](#)

[各部の名称](#)

SIMを準備する

[SIMカードとmicroSDカードを入れる](#)

[eSIMを登録する](#)

[SIMを設定する](#)

[画面保護について](#)

[電源を入れる](#)

[Googleアカウントを設定する](#)

データを移行する

[Xperia Transfer 2アプリを使ってデータを移行する（Android/iOS機器）](#)

[Googleアカウントを使ってデータを同期する（Android機器）](#)

[パソコンを使ってデータを移行する（Android機器）](#)

[microSDカードを使ってデータを移行する（Android機器）](#)

セキュリティ

[セキュリティについて](#)

[IMEI番号を確認する](#)

[遠隔操作で本機を探す／ロックする／データを消去する](#)

基本操作

[画面をオン／オフする](#)

[ホーム画面を操作する](#)

[画面が消灯するまでの時間を設定する（スリープ）](#)

[スマートバックライト機能を使う](#)

[片手モードを使う](#)

[スクリーンショットを撮る](#)

[画面を録画する（スクリーンレコーダー）](#)

[アラームを使う](#)

[QRコードを読み取る](#)

[通知LEDを使う](#)

表示されるアイコンについて

- [ステータスバーと通知パネル](#)
- [ステータスアイコンについて](#)
- [通知アイコンについて](#)

バッテリーとメンテナンス

[充電する](#)

バッテリー

- [いたわり充電を使う](#)
- [STAMINAモードを使う](#)
- [内蔵電池について](#)
- [アプリの電池の使用状況を確認する](#)

ソフトウェアの更新

- [ソフトウェアの更新について](#)
- [ネットワーク経由でソフトウェアを更新する](#)
- [パソコンでソフトウェアを更新する](#)

再起動／リセット／修復

- [再起動／リセットする](#)
- [ソフトウェアを修復する](#)
- [アプリをリセットする](#)

メモリーパフォーマンスを向上する

- [ストレージについて](#)
- [ストレージの空き容量を増やす](#)
- [アプリやサービスを強制終了する](#)
- [microSDカードをフォーマットする](#)

ネットワーク

[モバイルデータ通信について](#)

[Wi-Fi®の電波を受信しやすくするには](#)

[データ使用に関する設定をする](#)

基本設定

[設定メニューを使う](#)

音量／バイブレーション／サウンド

— [音量やバイブレーションを設定する](#)

— [着信音や通知音を設定する](#)

[画面の設定をする](#)

[アプリの自動更新を設定する](#)

[位置情報サービスを利用する](#)

[日付と時刻を設定する](#)

カメラ

カメラの基本操作

— [カメラ画面の各部の名称](#)

— [静止画や動画を撮影する](#)

— [シーン認識と状況認識について](#)

— [フラッシュを使って撮影する](#)

— [撮影に便利な機能を使う](#)

— [静止画や動画を見る](#)

— [撮影方法を選ぶ](#)

— [いろいろな方法で静止画を撮影する](#)

— [セルフタイマーを使う](#)

露出や色、光の加減を調節する

— [露出・色合い・明るさについて](#)

— [色合い・明るさを調整する](#)

— [露出を調整する](#)

— [シャッタースピードを調整する](#)

— [ISO感度を変更する](#)

[HDR（High Dynamic Range）静止画撮影をする](#)

[ホワイトバランスを調整する](#)

[測光機能で露出を調整する](#)

[フォーカスを調整する](#)

人物を撮影する

[人物の撮影について](#)

[美肌効果を使用して撮影する](#)

[スマイルシャッター機能を使用して撮影する](#)

[セルフイーを撮影する](#)

[ハンドシャッターを設定する](#)

動いている被写体を撮影する

[被写体を追尾して撮影する（タッチ追尾フォーカス）](#)

[ビデオ手ブレ補正を使って動画を撮影する](#)

[背景をぼかして撮影する（ぼけ効果）](#)

いろいろな撮影方法を使って撮影する

[ナイトモードを使う](#)

[スローモーション機能を使う](#)

[ポートレートセルフイー機能を使う](#)

[クリエイティブエフェクトを使う](#)

[パノラマ撮影する](#)

[画像サイズを変更する](#)

その他のカメラ設定

[位置情報を保存する](#)

[グリッドラインを表示する](#)

[プレビュー画像を表示する（静止画オートレビュー）](#)

[音量キー設定する](#)

音楽

[パソコンから音楽を転送する](#)

[音楽を再生する](#)

[ミュージックアプリの機能について](#)

おサイフケータイ®

[おサイフケータイについて](#)

[リーダー／ライターとデータをやりとりする](#)

[おサイフケータイを設定する](#)

[おサイフケータイ対応サービスを利用する](#)

[画面ロック中におサイフケータイの機能をロックする](#)

機器接続

[ワイヤレス接続を使ってテレビの画面に表示する](#)

[本機をUSBアクセサリに接続する](#)

[NFC（Near Field Communication）機能を使う](#)

Bluetooth®機能について

[Bluetooth機能をオン／オフする](#)

[本機に名前をつける](#)

[Bluetooth機器とペア設定する（ペアリング）](#)

[Bluetooth機能を使ってデータを送信する](#)

[Bluetooth機能を使ってデータを受信する](#)

その他

[ユーザー補助設定](#)

[保証とアフターサービス](#)

[使用上のご注意](#)

[緊急通報、緊急通報位置通知について](#)

[防水／防塵性能](#)

[主な仕様](#)

[携帯電話機の比吸収率（SAR）について](#)

[VCCIについて](#)

[ソフトウェア使用許諾契約書](#)

[輸出管理規制について](#)

[おサイフケータイ対応サービスご利用上の注意](#)

[第三者が提供するサービス・アプリ](#)

[知的財産権について](#)

Getting started

[Startup_guide](#)

[Radio Wave Exposure and Specific Absorption Rate \(SAR\) Information](#)

[FCC Statement for the USA](#)

F-412-100-02(1) Copyright 2021 Sony Corporation

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

Android 12へのアップデート後の変更点

Android 12へのソフトウェアアップデートの他に、既存の機能にもいくつかの変更点があります。主な変更点は以下の通りです。

このヘルプガイドは、Android 12のすべての特長や機能を紹介しているわけではありません。アップデート後の特長や機能、設定、画面デザインの一部が、このヘルプガイドの記載内容と異なる場合があります。

スクロールスクリーンショット

スクロールして表示できる画面全体を、1枚のスクリーンショットで撮ることができます。

ご注意

- スクロールスクリーンショットは、アプリが機能に対応している場合に使用できます。

1. 音量キー（-）と電源キーを同時に押す。
2. [キャプチャ範囲を拡大] をタップする。



3. ドラッグしてスクリーンショットを撮る範囲を調整し、[保存] をタップする。



片手モード

片手モードは、画面全体を縮小して表示する方法から、画面を下にスライドさせて表示する方法に変わりました。

1. 画面を下から上にスワイプし、[設定] > [画面設定] > [片手モード] をタップし、[片手モードの使用] スイッチをタップしてオンにする。
その他の項目は、画面の指示に従って設定してください。
2. 片手モードを使うには、●（ホームボタン）をダブルタップする。
3. 片手モードから抜けるには、もう一度●（ホームボタン）をダブルタップするか、画面上部の空きエリアをタップする。

AVIF画像ファイル形式に対応

Android 12では、他の画像ファイル形式よりも高い圧縮率で高画質の、AVIF画像ファイル形式に対応できるようになりました。

その他の変更点

キー操作で画面をオンにする

電源キーだけでなく、音量キー（+/-）を押して画面をオンにできるようになりました。

画面を下から上にスワイプし、[設定] > [システム] > [ジェスチャー] をタップし、[キー操作で画面を点灯] スイッチをタップしてオンにしてください。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

圧縮音源を高音質で再生する（DSEE Ultimate）

ソニー独自のAI技術で高音域や微細な音を再現し、圧縮音源をハイレゾ相当の高音質にアップスケーリングして再生します。

- 1 画面を下から上にスワイプし、**【設定】 > 【音設定】 > 【オーディオ設定】**をタップする。
- 2 スイッチをタップしてDSEE Ultimateをオンにする。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

サイドセンス機能をオン／オフする

サイドセンス機能をオン／オフします。

- 1 画面を下から上にスワイプし、**〔設定〕** > **〔画面設定〕** > **〔詳細設定〕** を選ぶ。
- 2 **〔サイドセンス〕** をタップする。
- 3 スイッチをタップして、サイドセンス機能をオン／オフする。

関連項目

- [サイドセンス機能を使う](#)
- [サイドセンス機能の設定を変更する](#)
- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

サイドセンス機能を使う

本機の画面内の端に表示されるサイドセンスバーを使って、片手で本体を操作できます（サイドセンス機能）。サイドセンスメニューを表示してアプリや設定項目へのショートカットとして使ったり、マルチウィンドウメニューを表示して分割画面で2つのアプリを表示したりできます。また、画面端のサイドセンスバー部分を下にスライドすると直前の画面に戻ることもできます。タップやスライドなどは、サイドセンスバーの上で操作してください。

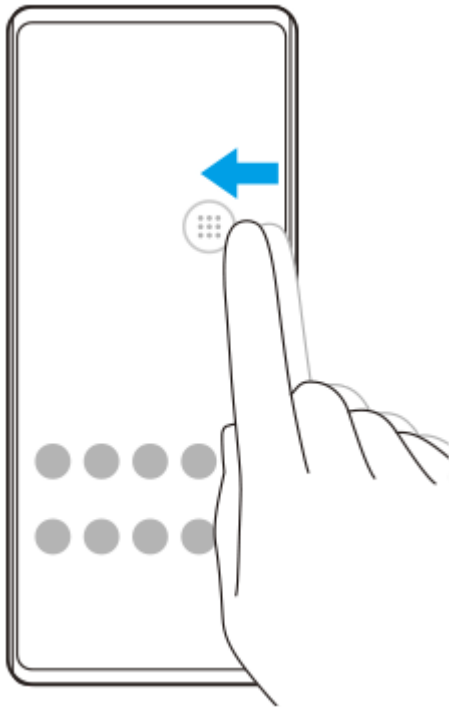


ご注意

- お使いのアプリや機能によっては、サイドセンス機能が使用できない場合があります。

サイドセンスバーをカスタマイズする

サイドセンスバーの表示位置を移動するには、サイドセンスバーを長押ししたまま上下にドラッグします。サイドセンスを画面の任意の位置に配置するには、サイドセンスバーを長押ししたまま、画面中央に向かってドラッグします。サイドセンスバーの形が丸く変わり、ドラッグして画面の希望の位置に配置できます。

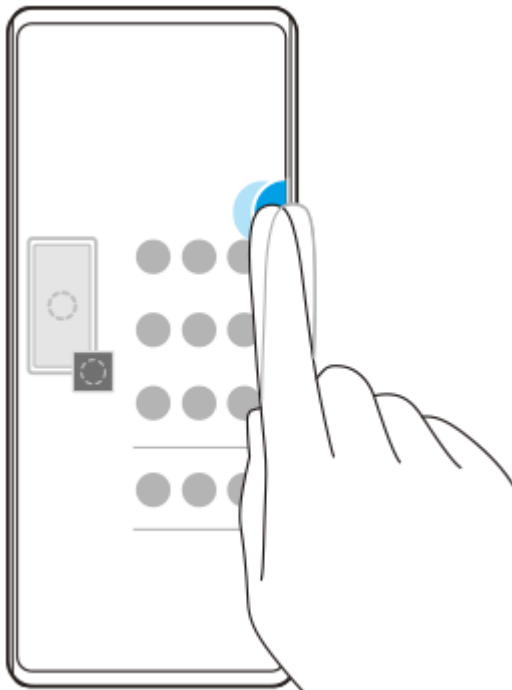


ヒント

- 任意の位置に置いた丸いアイコンを画面の端にドラッグすると、サイドセンスバーの形に戻ります。

サイドセンスメニューを表示する

サイドセンスメニューを表示するには、サイドセンスバーまたはサイドセンスの丸いアイコンをダブルタップします。画面の指示に従ってアプリを選んでください。ポップアップウィンドウでアプリを起動することもできます。

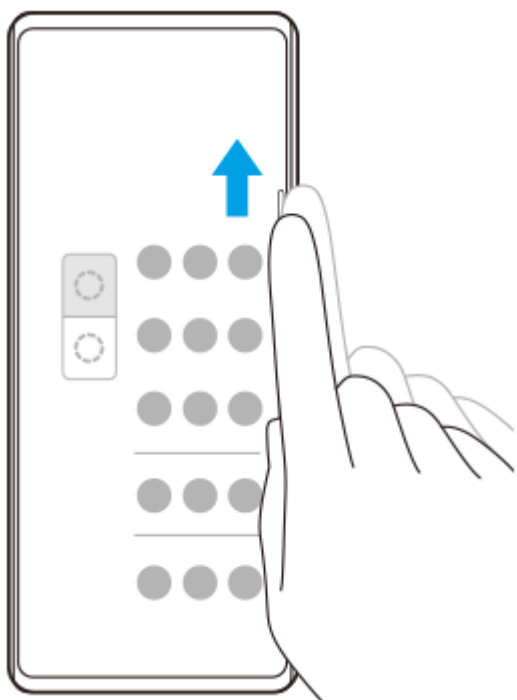


ヒント

- サイドセンスメニューを終了するには、画面の中のサイドセンスバーを再度ダブルタップするか、サイドセンスメニューの外側をタップしてください。

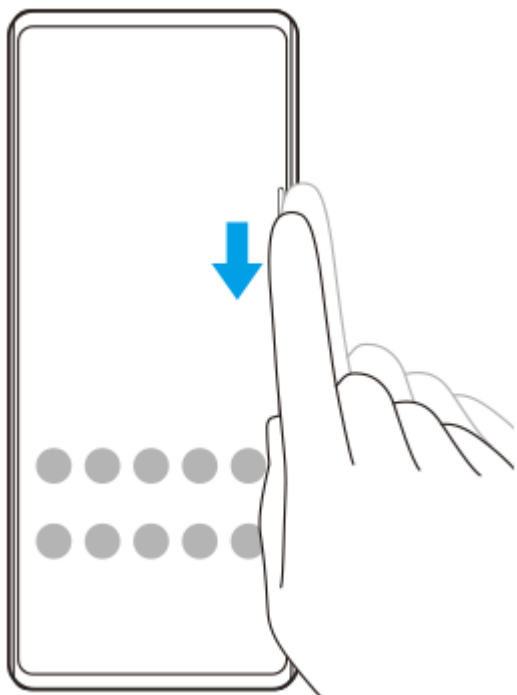
マルチウィンドウメニューを表示する

マルチウィンドウメニューを表示するには、サイドセンスバーまたはサイドセンスの丸いアイコンを上へスライドします。画面の指示に従って分割画面に表示するアプリを選んでください。



サイドセンス機能を使って直前の画面に戻る

直前の画面に戻るには、サイドセンスバーまたはサイドセンスの丸いアイコンを下へスライドします。



関連項目

- [サイドセンス機能をオン／オフする](#)
- [サイドセンス機能の設定を変更する](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

サイドセンス機能の設定を変更する

サイドセンス機能を画面の片側または両側で使えるように設定したり、ジェスチャー操作の割り当てを変更したり、さまざまな設定を変更できます。

- 1 画面を下から上にスワイプし、**【設定】** > **【画面設定】** > **【詳細設定】** を選ぶ。
- 2 **【サイドセンス】** をタップする。
- 3 スイッチをタップして、**サイドセンス機能をオンにする**。
- 4 画面の説明に従って設定を変更する。

関連項目

- [サイドセンス機能をオン／オフする](#)
- [サイドセンス機能を使う](#)
- [設定メニューを使う](#)

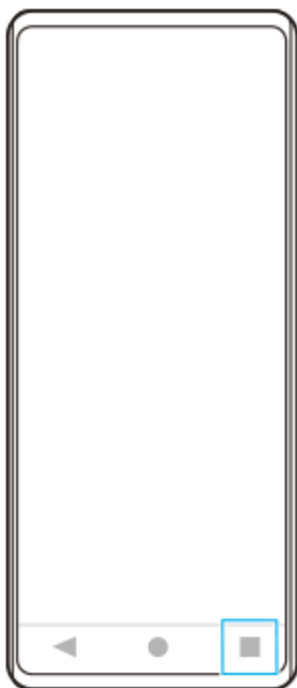
スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

ポップアップウィンドウを使う

全画面表示でアプリを使っている上に、小さなポップアップ画面を重ねて別のアプリを使用できます。分割画面で2つのアプリを表示させているときでも、ポップアップウィンドウに3つめのアプリを起動して使用できます。

- 1 ナビゲーションバーの■（履歴キーボタン）をタップする。



- 2 画面を左右にスワイプし、小さな画面に表示したいアプリを選び、[ポップアップウィンドウ]をタップする。



3 画面を左右にスワイプし、全画面で表示したいアプリを選ぶ。



ポップアップウィンドウの各部の名称



1. ドラッグしてポップアップウィンドウの画面の大きさを調整します。
2. ドラッグしてポップアップウィンドウを移動します。
3. タップしてポップアップウィンドウを最大サイズに変更します。
4. タップしてポップアップウィンドウをアイコン化します。
5. タップしてポップアップウィンドウを閉じます。

ご注意

- ポップアップウィンドウに対応していないアプリもあります。
- カメラを使用中など、お使いの機能やアプリによっては、ポップアップウィンドウを表示できない場合があります。

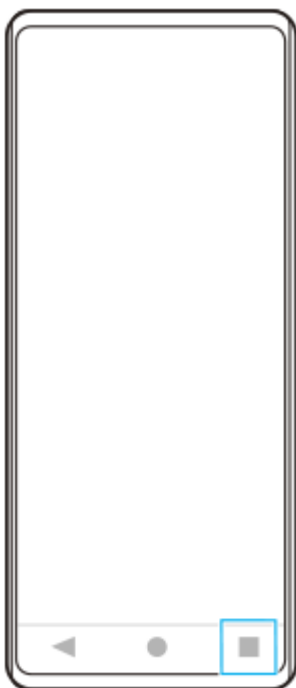
スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

分割画面を使う

写真とカレンダーを同時に表示するなど、画面を2つに分割して別々のアプリを同時に表示できます。

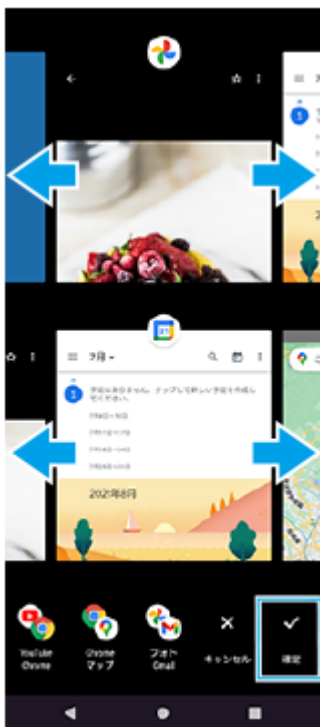
- 1 ナビゲーションバーの■（履歴キーボタン）をタップする。



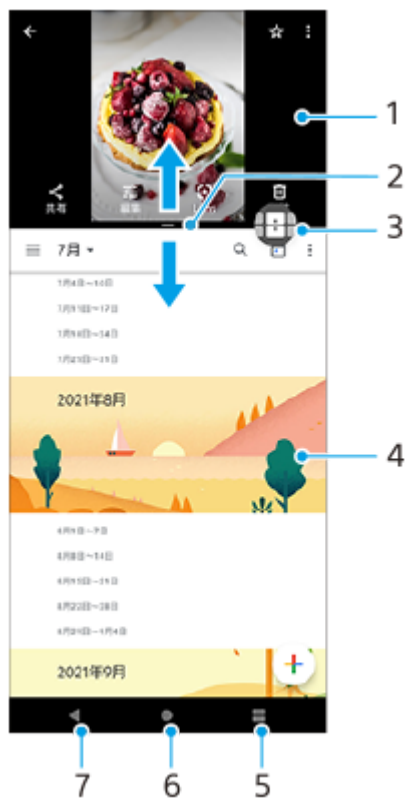
- 2 「マルチウィンドウスイッチ」をタップする。



- 3 画面を左右にスワイプし、上下に表示したいアプリをそれぞれ選び、【確定】をタップする。



分割画面の各部の名称



1. 1つめのアプリ
2. 分割画面の境界線：ドラッグして上下の画面の大きさを変更できます。
3. マルチウィンドウスイッチ：（マルチウィンドウスイッチアイコン）をタップしてアプリを選びます。（マルチウィンドウスイッチアイコン）は分割画面の境界線をドラッグすると表示されます。
4. 2つめのアプリ
5. 最近ボタン：最近使ったアプリの中から、下の画面に割り当てるアプリを選べます。

6. ホームボタン：アプリから抜け、ホーム画面に戻ります。

7. 戻るボタン：アプリ内の1つ前の画面に戻るか、アプリを閉じます。

ご注意

- すべてのアプリが分割画面表示に対応しているわけではありません。

分割画面をリサイズするには

分割画面の境界線をドラッグして、上のアプリ画面と下のアプリ画面の表示範囲を調整します。

分割画面を終了するには

分割画面の境界線を画面の一番上または下までドラッグします。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

画面をタッチせずに通話操作する（スマート着信操作）

〔スマート着信操作〕の設定をすると、電話の着信中に画面をタッチせずに、ジェスチャーで次の操作ができます。

- **応答**：本機を耳元に運ぶ。
- **拒否**：本機を振る。
- **消音**：本機の画面を下向きに置く。

ご注意

- お使いの電話アプリによっては、スマート着信操作が使用できない場合があります。

- 1 画面を下から上にスワイプし、〔設定〕 > 〔システム〕 > 〔ジェスチャー〕 > 〔スマート着信操作〕をタップする。
- 2 スイッチをタップして機能をオン／オフする。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

このヘルプガイドについて

本書はXperia 10 III Lite XQ-BT44、Android 11バージョンのヘルプガイドです。本機のソフトウェアバージョンは、[設定]メニューから確認できます。

本機の仕様については、製品情報サイトxperia.sony.jp/をご覧ください。

Androidの基本設定、Wi-Fi設定、ホーム画面、データ転送、アプリ画面の操作、通知、その他のGoogleアプリの特長などについては、Googleヘルプ support.google.com/ をご覧ください。一般的なAndroidの特長と設定については、Androidヘルプ support.google.com/android/ をご覧ください。

ご注意

- システムやアプリのアップデートを行うと、このヘルプガイドで説明されている操作と実際の操作が異なる場合があります。また、Androidのバージョンがアップデートしないソフトウェアの更新もあります。
- ヘルプガイドで使われている画面デザイン、メニュー構成等の仕様は、通信事業者もしくはサービスプロバイダーによって異なる場合があります。
- 画像の例としてヘルプガイドに掲載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。

システムのソフトウェアバージョンやモデル名を確認するには

画面を下から上にスワイプし、[設定] > [デバイス情報] をタップします。

使用中のソフトウェアバージョンは[ビルド番号]に、モデル名は[モデル]に表示されます。

使用上のご注意

付属の『重要なお知らせ（安全のために）』を必ずお読みください。

サービスや機能、アプリに関する制限事項

このヘルプガイドに記載されているサービスや機能、アプリは、お使いの国／地域または通信事業者もしくはサービスプロバイダーによっては、ご利用になれない場合があります。また、ご利用にあたっては、インターネット接続が必要となる場合があります（通信料が発生する場合があります）。ご利用可否や利用料、通信料等の詳細は、お使いの通信事業者またはサービスプロバイダーにお問い合わせください。

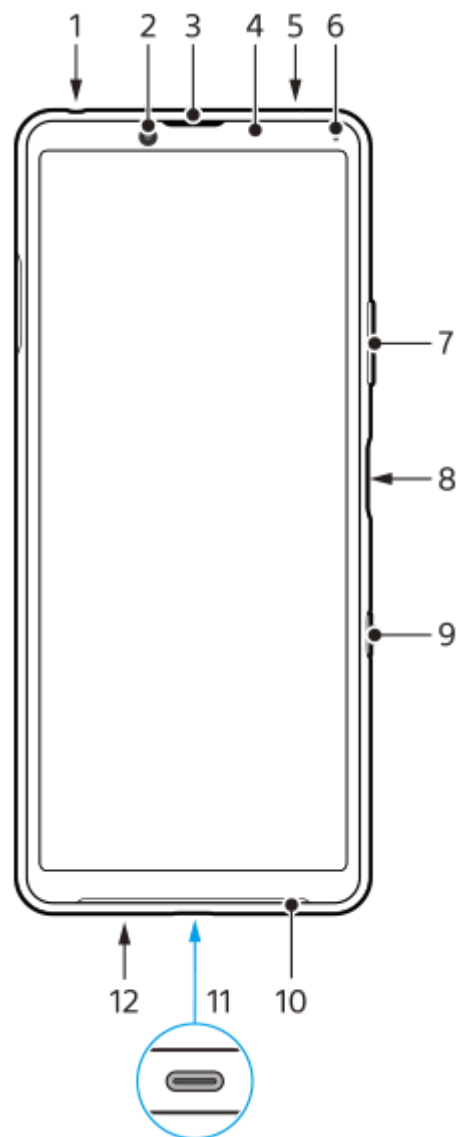
関連項目

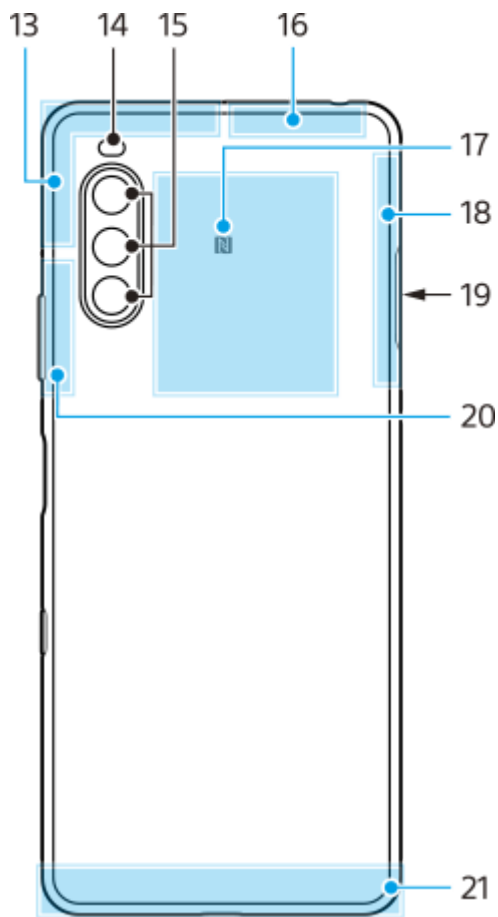
- [設定メニューを使う](#)
- [ソフトウェアの更新について](#)
- [ネットワーク経由でソフトウェアを更新する](#)
- [パソコンでソフトウェアを更新する](#)
- [使用上のご注意](#)
- [ソフトウェア使用許諾契約書](#)
- [第三者が提供するサービス・アプリ](#)
- [知的財産権について](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

各部の名称





1. ヘッドセット接続端子
2. フロントカメラ
3. 受話口
4. 近接／照度センサー
5. セカンドマイク
6. 充電／通知LED
7. 音量キー（＋／－）／ズームキー
8. 電源キー／指紋センサー
9. Googleアシスタントキー
10. スピーカー
11. USB Type-C[®]接続端子
市販のUSB-LANアダプターを使うと、有線LANケーブルでインターネットへ接続することができます。

ご注意

- お使いのUSB-LANアダプターによっては、正しく動作しない場合があります。

12. 送話口／メインマイク
13. 内蔵セルラーアンテナ部
14. フラッシュ

- 15. メインカメラ
- 16. 内蔵セルラーアンテナ部、Wi-Fi／Bluetooth／GPSアンテナ部
- 17. NFCアンテナ部
- 18. 内蔵セルラーアンテナ部
- 19. SIMカード／microSDカード挿入口
- 20. 内蔵セルラーアンテナ部、Wi-Fiアンテナ部
- 21. 内蔵セルラーアンテナ部

F-412-100-02(1) Copyright 2021 Sony Corporation

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

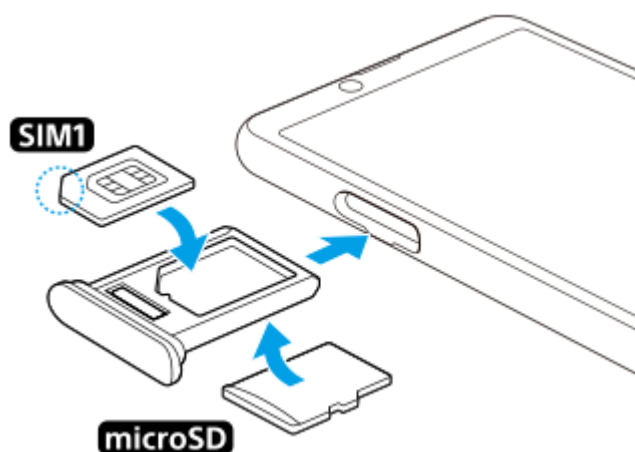
SIMカードとmicroSDカードを入れる

本機のSIMカードトレイは、nano SIMカードに対応しています。本機はnano SIMカード1枚とmicroSDカード1枚を入れて使用できます。nano SIMカードに加えてeSIMを設定すると、デュアルSIMとして使用できます。

SIMカードとmicroSDカードは、端子面が見える向きでトレイに配置します。SIMカードは切り欠き部の向きに注意し、正しい向きで確実ににはめ込んでください。

ご注意

- 5Gに対応したSIMを2つ同時に使用する場合、モバイルデータ通信に使用するSIMのみ、5Gとして利用可能です。2つのSIMで同時に5Gは利用できません。
- eSIMのみを使用する場合は、SIMカードを挿入する必要はありません。
- microSDカードを本機から取り外すときは、データの破損を防ぐため、事前にmicroSDカードのマウントを解除してください。画面を下から上にスワイプし、[設定] > [ストレージ] > [SDカード] 横の▲（取り出しアイコン）をタップしてください。microSDカードを安全に取り外せます。



- 1 SIMカードトレイを引き出す。
- 2 SIMカードをトレイの上の面に正しい向きで確実ににはめ込む。
- 3 microSD カードをトレイの下の方に正しい向きで確実ににはめ込む。
- 4 SIMカードトレイを本体のスロット部にゆっくりと確実に押し込む。

関連項目

- [eSIMを登録する](#)
- [SIMを設定する](#)
- [IMEI番号を確認する](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

eSIMを登録する

本機はeSIM（ダウンロード型SIM）に対応しています。

eSIMをご利用の場合は、設定メニューから設定してください。

- 1 画面を下から上にスワイプし、**【設定】 > 【ネットワークとインターネット】 > 【モバイル ネットワーク】 > 【eSIMを使用して番号を追加】** をタップする。
- 2 画面の指示に従って、ネットワークプロバイダー（通信事業者）から提供されているQRコードをスキャンする。

ご注意

- eSIMの設定方法は通信事業者によって異なるため、ここで説明されている手順で設定が完了できない場合があります。詳しくは、ご利用になる通信事業者の設定手順をご確認ください。

関連項目

- [SIMカードとmicroSDカードを入れる](#)
- [SIMを設定する](#)
- [QRコードを読み取る](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

SIMを設定する

本機にSIMカードとeSIMの2つを設定すると、次のことができます。

- 電話は、両方のSIMで着信できます。
- 電話をかけるときは、通話に使用するSIMをあらかじめ指定できます。電話をかけるたびに使用するSIMを選ぶように設定することもできます。
- 一方のSIMが使用できないときは、もう一方のSIMに着信を転送できます（デュアルSIMアクセス）。

SIMを2つ設定して使用するには、あらかじめSIMを有効化し、データ通信に使用するSIMを指定しておきます。

ヒント

- 本機はSIMを1つだけ設定しても使用できます。

SIMを有効化する

1. 画面を下から上にスワイプし、[設定] > [ネットワークとインターネット] > [モバイル ネットワーク] をタップする。
2. SIMを選ぶ。
3. [SIM を使用] スイッチをタップして、SIMを有効化する。
もう一度タップすると無効化できます。
4. ←（戻るボタン）をタップして、もう一方のSIMを設定する。

SIMの名称を変更する

1. 画面を下から上にスワイプし、[設定] > [ネットワークとインターネット] > [モバイル ネットワーク] をタップする。
2. SIMを選ぶ。
3. （編集アイコン）をタップして、SIMの名称を変更する。
4. [保存] をタップする。

データ通信に使用するSIMを選ぶ

1. 画面を下から上にスワイプし、[設定] > [ネットワークとインターネット] > [モバイル ネットワーク] をタップする。
2. SIMを選ぶ。
3. [データ設定] をタップする。
4. データ通信に使用するSIMをタップする。

電話をかけるときに使う標準SIMを設定する

1. 画面を下から上にスワイプし、[設定] > [ネットワークとインターネット] > [モバイル ネットワーク] をタップする。
2. SIMを選ぶ。
3. [通話の設定] をタップする。
4. 通話に使用するSIMをタップする。

デュアルSIMアクセス機能を使う

デュアルSIMアクセスとは、一方のSIMが使用できない場合にもう一方のSIMに着信を転送する機能です。

1. 画面を下から上にスワイプし、☎（電話アイコン）をタップする。
2. ⋮（オプションアイコン） > [設定] > [通話アカウント] > [デュアルSIMアクセス] をタップする。
3. スイッチをタップして機能をオンにする。
4. 画面の指示に従って設定を完了する。

ご注意

- 通信事業者のSIMの組み合わせによっては、デュアルSIMアクセス機能が利用できない場合があります。詳しくは通信事業者の転送サービスに関する情報をご確認ください。

ヒント

- SIMを2つ使用する場合で、片方のSIMを通話用に、もう片方のSIMをデータ通信用に設定すると、通話中にインターネットに接続できなくなることがあります。その場合は、通話用のSIMの設定画面で[通話時のみデータ]スイッチをオンにしてください。通話中にデータ通信ができるようになります。
- 設定を完了してもデュアルSIMアクセスが機能しない場合、それぞれのSIMに正しい電話番号を入力したか確認してください。まれに設定中に番号が自動的に検出され、設定されてしまうことがあります。

関連項目

- [SIMカードとmicroSDカードを入れる](#)
- [eSIMを登録する](#)
- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

画面保護について

スクリーンカバーやスマートフォンケースなどは、本機を損傷から保護するのに有効です。本機専用の保護アクセサリの使用をおすすめします。

本機専用ではない保護アクセサリを使用すると、センサー、レンズ、スピーカー、またはマイクを覆ってしまい、本機が正常に動作しなくなる可能性があります。保証の範囲外となることもありますのでご注意ください。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

電源を入れる

本機を初めてお使いになるときは、30分以上充電してから起動することをおすすめします。

充電中も本機を使用できます。

初めて電源を入れたときは初期設定画面が表示されます。基本的な設定項目や設定のカスタマイズ、Googleアカウントなどへのサインインを行ってください。

- 1 本体が振動するまで電源キーを長押しする。

電源を切るには

1. メニューが表示されるまで、電源キーを長押しする。
2. 「電源を切る」をタップする。

ご注意

- 電源が切れるまでしばらく時間がかかることがあります。

関連項目

- [充電する](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

Googleアカウントを設定する

本機はAndroidプラットフォーム上で動作します。Gmail、Googleマップ、YouTube、Google Playなど、さまざまなGoogleアプリやサービスをご利用いただけます。これらのサービスを最大限に活用するには、Googleアカウントが必要です。Googleアカウントを使うと次のようなことができます。

- Google Playからアプリをダウンロードする。
- Gmailを使ってメールや連絡先、カレンダーなどを同期する。
- 他機から本機にデータをバックアップ、復元、移行する。
- Google Duoでチャットする。
- Chromeで閲覧履歴やブックマークを同期する。
- Xperia Companionでのソフトウェアの修復後、本機の正規ユーザーとして識別する。
- 本機の紛失や盗難の場合に自分の機器を探すサービスを利用して本機を検索、ロック、またはデータの消去を行う。

詳細については、support.google.com/ をご覧ください。

- 1 画面を下から上にスワイプし、**【設定】 > 【アカウント】 > 【アカウントを追加】 > 【Google】**をタップする。
- 2 画面の指示に従ってGoogleアカウントを作成する。すでにアカウントを持っている場合はサインインする。

関連項目

- [Googleアカウントを使ってデータを同期する（Android機器）](#)
- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

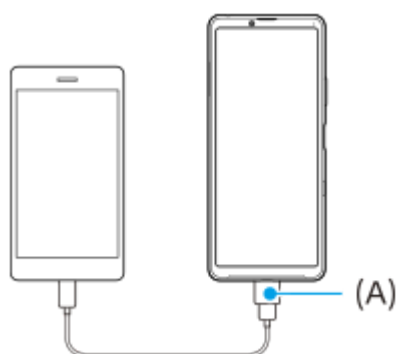
Xperia Transfer 2アプリを使ってデータを移行する（Android/iOS機器）

Xperia Transfer 2アプリで、音楽や写真、連絡先、端末の設定、スケジュール、通話履歴、SMS/MMSなどのデータを移行できます。



他機（移行元）と本機（移行先）の2つの機器をUSBケーブルで接続し、データを移行できます。iOS機器からデータを移行する場合は、USBケーブルに加え、USB OTGアダプターをお使いください。また、Wi-Fi経由でもデータを移行できます。

(A) : USB OTGアダプター（iOS機器と接続してデータを移行する際に使用します。）



1 本機（移行先）でXperia Transfer 2 アプリを起動する。

他のAndroid OS機器からデータを移行する場合は、他機（移行元）側でXperia Transfer 2アプリをダウンロードし、起動してください。

2 画面の指示に従って接続、データの移行を行う。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

Googleアカウントを使ってデータを同期する（Android機器）



Googleアカウントと同期することでデータを移行できます。

他のAndroid機器（移行元）から本機（移行先）にデータを移行する場合は、まず、他機側でGoogleアカウントにログインし、データをバックアップします。その後、本機で同じGoogleアカウントを設定し、データを同期して移行します。移行するコンテンツによって方法が異なる場合があります。

詳細についてはsupport.google.com/android/やアプリのヘルプもご覧ください。

お使いのアカウントによってGoogleドライブの使用容量に制限がある場合があります。詳しくはGoogleドライブで☰（メニューアイコン）> [ストレージ] をタップし、容量をご確認ください。

Gmail、カレンダー、連絡先



1. 画面を下から上にスワイプし、[設定]>[アカウント] をタップする。
2. Googleアカウントが設定されていない場合は、[アカウントを追加] をタップし、画面の指示に従ってアカウントを追加する。
3. [アプリデータを自動的に同期する] スイッチをタップして、データの自動同期機能をオンにする。
Gmail、カレンダー、連絡先が自動的に同期されます。

静止画、動画

静止画や動画はGoogleフォトにバックアップして移行できます。



1. 他機（移行元）でGoogleフォトに静止画や動画をバックアップし、同期設定をオンにする。
2. 本機（移行先）で、他機と同じGoogleアカウントにログインする。
3. 画面を下から上にスワイプし、Googleフォトアプリを起動する。
Googleアカウントにバックアップされている静止画や動画を閲覧、編集できます。
本機の内部ストレージなどにデータを保存したい場合は、ダウンロードしてください。

アプリや設定、通話履歴、SMS/MMS

アプリや設定、通話履歴、SMS/MMSはGoogleドライブに自動でバックアップして移行できます。



1. 他機（移行元）で、Googleドライブの設定メニューから、端末のバックアップ設定をオンにする。
2. 本機（移行先）の初期設定画面で、他機と同じGoogleアカウントを設定し、復元するバックアップと復元対象を選ぶ。

ヒント

- 本機でアプリや設定、通話履歴を自動でバックアップするには、画面を下から上にスワイプし、[設定] > [システム] > [バックアップ] をタップし、スイッチをオンにしてください。

音楽データや他のファイル

音楽データやドキュメントなどのファイルはGoogleドライブに手動でバックアップして移行します。



1. 他機（移行元）で、ミュージックアプリやファイルアプリを起動する。
2. Googleドライブへアップロードするファイルを選び、共有メニューからGoogleドライブに保存する。
3. 本機（移行先）で、他機と同じGoogleアカウントにログインする。
4. Googleドライブアプリを起動する。
他機でバックアップしたファイルを閲覧したりダウンロードします。

ヒント

- 本機で音楽データや他のファイルをバックアップするには、バックアップしたいファイル（音楽データやドキュメントファイルなど）を長押しし、（共有アイコン）をタップしてGoogleドライブに保存してください。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)
- [Googleアカウントを設定する](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

パソコンを使ってデータを移行する（Android機器）

容量の大きなデータは、パソコンを使って他のAndroid機器から本機にデータを移行できます。

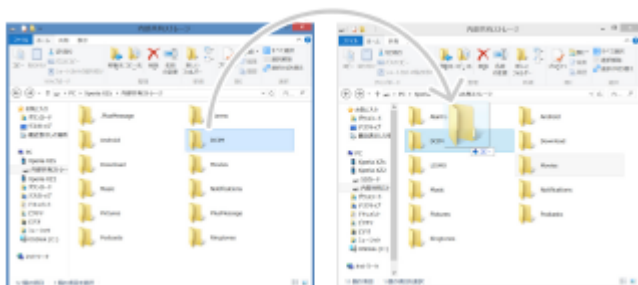


1 USBケーブルを使って、他機（移行元）と本機（移行先）両方をパソコンに接続する。

本機では、画面を上から下にスワイプして通知パネルを開き、USB接続の通知をタップします。[タップしてその他のオプションを表示します。]をタップし、[ファイル転送]を選んでください。

2 パソコンの画面で、他機の中から移行したいデータを選び、本機にコピーアンドペーストまたはドラッグアンドドロップする。

データを移行する際は、他機（移行元）と本機（移行先）の両方のフォルダー名が同じことを確認してください。



ご注意

- 必ず、本機に対応のUSBケーブルを使用し、完全に乾いた状態でご使用ください。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

microSDカードを使ってデータを移行する（Android機器）

静止画や動画、音楽データなどをmicroSDカードを使って他のAndroid機器から移行できます。



- 1 他機（移行元）の設定メニューのストレージやファイルアプリから、移行したいデータを選び、microSDカードにコピーする。

連絡先をmicroSDカードにコピーするには、連絡先アプリを起動してmicroSDカードにエクスポートしてください。

ご注意

- あらかじめ、他機で使えるmicroSDカードの規格をご確認ください。

- 2 データがコピーされたmicroSDカードを本機（移行先）に挿入し、データを本機の内部ストレージに移行する。

連絡先は、連絡先アプリで復元作業（インポート）が必要です。



- 3 各アプリでデータの移行を確認する。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

セキュリティについて

本機の紛失や盗難に備えて、セキュリティオプションの設定を行い、本機を保護しておくことをおすすめします。

セキュリティの設定には以下のような方法があります。

画面を下から上にスワイプして「設定」を選び、画面上部の検索窓から項目を検索してください。

- 画面のロック
- 指紋設定
- SIMカードロック設定

本機のロック解除や買い物の際の認証のセキュリティとして、指紋を登録できます。

指紋認証の設定については、画面を下から上にスワイプして、「設定」>「セキュリティ」>「指紋設定」を選び、画面の指示に従って設定してください。

詳細については、support.google.com/android/ をご覧ください。

ご注意

- セキュリティオプションを設定するときは設定の詳細を紛失しないようご注意ください。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)
- [遠隔操作で本機を探す／ロックする／データを消去する](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

IMEI番号を確認する

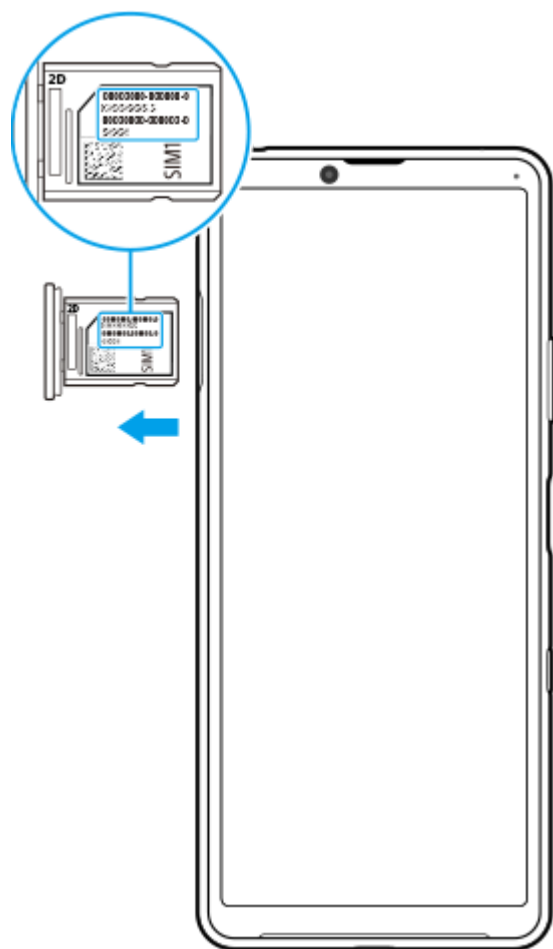
本機はIMEI番号または製品IDという特定の識別番号が設定されています。本機が盗難にあったときやサポートデスクに問い合わせるときに必要なことがあるため、識別番号を控えておくことをおすすめします。

IMEI番号を確認するには次のいずれかの操作を行います。

IMEI番号を画面に表示する

1. 画面を下から上にスワイプし、☎（電話アイコン）をタップする。
2. ☎（ダイヤルパッドアイコン）をタップする。
3. ダイヤルパッドで [*#06#] を入力する。
IMEI番号が表示されます。

本体にあるIMEI番号を確認する



1. SIMカードトレイを引き出す。
トレイにIMEI番号が印刷されています。

関連項目

- [セキュリティについて](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

遠隔操作で本機を探す／ロックする／データを消去する

Googleは「デバイスを探す」というWebサービスを提供しています。

この機能はGoogleアカウントにサインインすると初期設定として設定されています。

「デバイスを探す」機能を使うと、本機を紛失したときに本機の現在地を調べたり、ロックしたり、データを消去したりできます。

詳細については、support.google.com/android/ をご覧ください。

関連項目

- [セキュリティについて](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

画面をオン／オフする

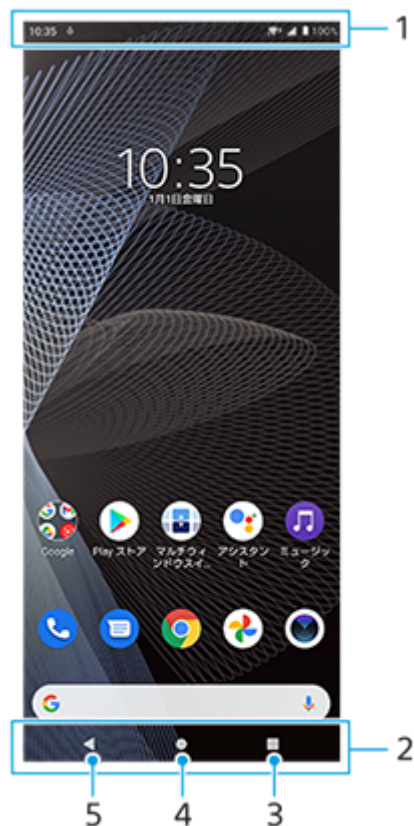
画面がオフのときは画面ロック設定によっては本機がロックされた状態になります。

- 1 電源キーを押して画面をオン／オフする。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

ホーム画面を操作する



1. ステータスバー

2. ナビゲーションバー

3. 履歴キーボタン

開いているすべてのアプリを表示します。

- 他のアプリを選ぶには、履歴キーボタンをタップし、アプリの履歴を左右にスワイプして表示したいアプリを選び、タップして開きます。
- アプリを終了するには、履歴キーボタンをタップし、アプリの履歴を左右にスワイプして終了したいアプリを選び、上にスワイプします。

4. ホームボタン

表示中のアプリを閉じ、ホーム画面に戻ります。

5. 戻るボタン

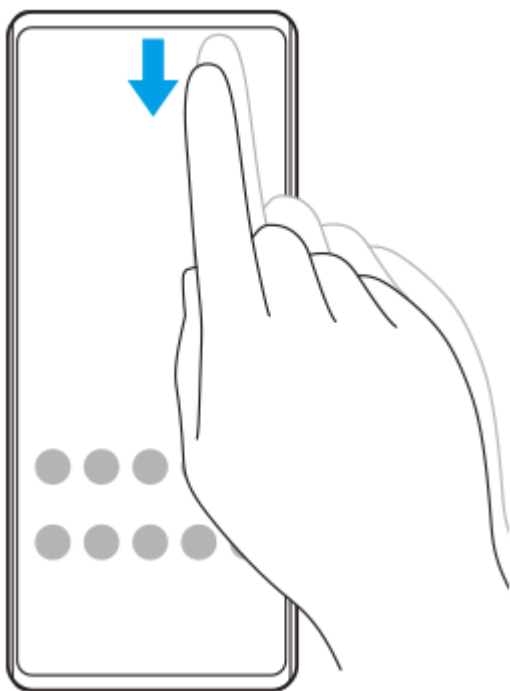
直前の画面に戻ります。アプリを開いていた場合、直前に開いていた画面に戻るかアプリを閉じます。

ヒント

- ナビゲーションバーにホームボタン、戻るボタン、履歴キーボタンが表示されていない場合は、[設定] > [システム] > [ジェスチャー] > [システム ナビゲーション] > [3 ボタン ナビゲーション] を選んでください。

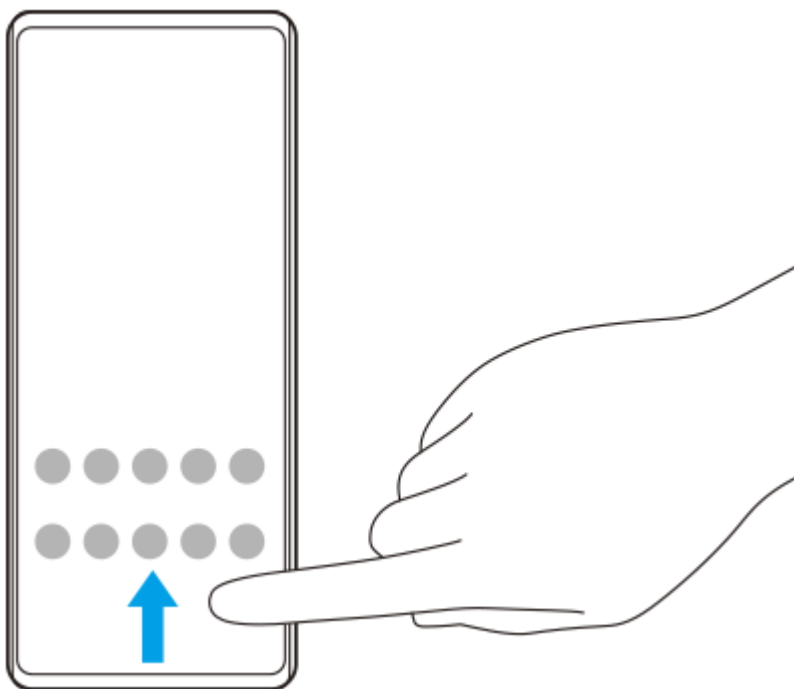
クイック設定パネルを表示するには

1. 画面上部を上から下に2回スワイプする。



アプリ画面を表示してアプリを起動するには

1. 画面を下から上にスワイプし、アプリ画面を表示する。



2. 起動したいアプリをタップする。

壁紙を変更するには

あらかじめ用意されている壁紙やお好みの写真などを壁紙に設定できます。

1. ホーム画面の何も表示されていない部分を長押しし、〔壁紙〕をタップする。



ヒント

- ホーム画面の何も表示されていない部分を長押しし、[ウィジェット] をタップして、ホーム画面にウィジェットを配置することができます。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)
- [画面の設定をする](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

画面が消灯するまでの時間を設定する（スリープ）

画面が表示されたまま何も操作しない状態で一定時間が経過すると、電池の消耗を抑えるため画面が消灯します。画面が消灯するまでの時間は設定できます。

- 1 画面を下から上にスワイプし、**〔設定〕** > **〔画面設定〕** > **〔画面消灯〕** をタップする。
- 2 希望の時間をタップする。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

スマートバックライト機能を使う

本機を手を持っているときは、画面が消灯しないように設定できます。机の上などに置くと、スリープ設定した時間が経過した後に自動的に画面が消灯します。

- 1 画面を下から上にスワイプし、**〔設定〕 > 〔画面設定〕 > 〔詳細設定〕 > 〔スマートバックライト〕** をタップする。
- 2 **スイッチ** をタップする。

関連項目

- [画面が消灯するまでの時間を設定する（スリープ）](#)
- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

片手モードを使う

片手で操作しやすくなるように、画面を縮小して表示できます。

① 画面を下から上にスワイプし、**〔設定〕** > **〔画面設定〕** > **〔詳細設定〕** > **〔片手モード〕** をタップする。

② スイッチをタップして片手モードをオンにする。

③ ●（ホームボタン）をダブルタップして画面を縮小する。

片手モードから抜けて表示を元の大きさに戻すときは、もう一度●（ホームボタン）をダブルタップするか、縮小画面の外側をタップしてください。

縮小画面の位置を調整するには

- 縮小画面を左端または右端に移動する：⏪（左矢印アイコン）または⏩（右矢印アイコン）をタップします。
- 縮小画面を上または下に移動する：縮小画面上部に表示される水平の2本線を上下にドラッグします。
- 画面の大きさを変える：画面の端に表示される⌵（画面サイズ変更アイコン）をドラッグします。

ヒント

- サイドセンスメニューからも直接片手モードを起動できます。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)
- [サイドセンス機能を使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

スクリーンショットを撮る

表示されている画面を静止画として保存できます（スクリーンショット）。保存したスクリーンショットは、閲覧したり編集したり、共有したりできます。スクリーンショットは内部ストレージの中に保存されます。

- 1 音量－キー（A）と電源キー（B）を同時に長押しする。

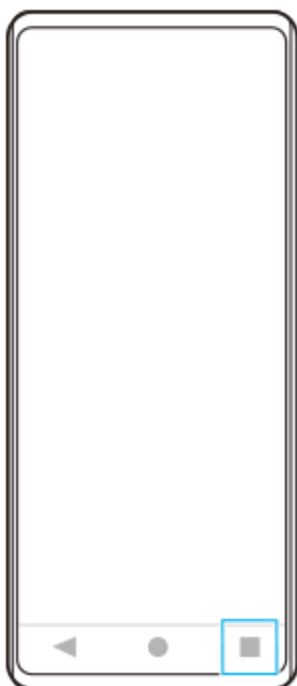


ヒント

- サイドセンサーまたはサイドセンスの丸いアイコンを操作してスクリーンショットを撮ることもできます。画面を下から上にスワイプし、[設定] > [画面設定] > [サイドセンス] > [ジェスチャー操作の割り当て] をタップします。機能を割り当てたいジェスチャー（[ダブルタップ] / [上スライド] / [下スライド]）をタップし、[画面を保存する（スクリーンショット）] を選んでください。

最近使ったアプリのスクリーンショットを撮るには

1. ナビゲーションバーの■（履歴キーボタン）をタップする。



2. 画面を左右にスワイプしてスクリーンショットを撮りたいアプリを表示し、[スクリーンショット] をタップする。



関連項目

- [サイドセンス機能の設定を変更する](#)
- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

画面を録画する（スクリーンレコーダー）

本機の画面を録画できます。録画された動画は本機の内部ストレージに保存されます。

1 画面上部を上から下に2回スワイプし、クイック設定パネルを表示する。

2 クイック設定パネルを左右にスワイプして、（スクリーンレコードアイコン）をタップする。

クイック設定パネルの中に（スクリーンレコードアイコン）が見つからないときは、（編集アイコン）をタップし、（スクリーンレコードアイコン）を画面上部へドラッグ&ドロップで移動してください。

3 画面の指示に従って、録画を開始する。

録画を停止するときは、ステータスバーを上から下にスワイプし、スクリーンレコーダーの通知をタップしてください。

ご注意

- アプリの設計条件によっては、画面の録画ができないことがあります。

関連項目

- [ホーム画面を操作する](#)

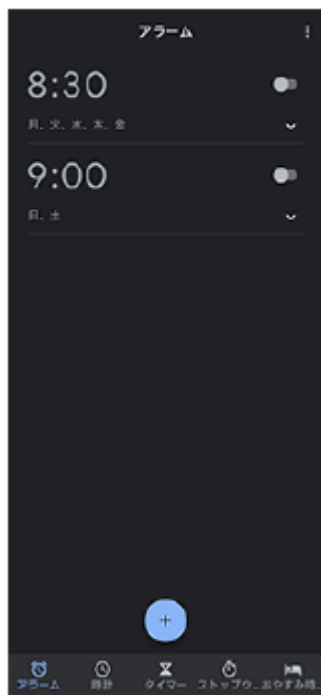
スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

アラームを使う

本機に保存されている音を使って複数のアラームを設定できます。電源がオフになっているときはアラームは鳴りません。

- 1 画面を下から上にスワイプし、**【時計】 > 【アラーム】** をタップする。



- 2 **+** (アラームを追加アイコン) をタップする。
- 3 時刻や曜日など、希望の項目を設定する。
- 4 **【OK】** をタップする。

ヒント

- ホーム画面に時計を表示するには、ホーム画面の何も表示のない場所を長押しし、**【ウィジェット】** をタップして時計を選びます。

関連項目

- [日付と時刻を設定する](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

QRコードを読み取る

本機のカメラアプリを使ってQRコードを読み取ることができます。

- 1 画面を下から上にスワイプし、（カメラアイコン）をタップする。
- 2 カメラをQRコードにかざし、メッセージが出たらタップする。
メッセージが出ないときは、画面を上から下にスワイプして通知パネルを確認してください。

【QRコード読み取り】機能をオン／オフするには

1. 画面を下から上にスワイプし、（カメラアイコン）をタップする。
2. （設定アイコン）をタップする。
3. 【QRコード読み取り】スイッチをタップする。
4. 設定メニューを閉じる。
設定が保存されます。

ヒント

- QRコードの通知方法を変更するには、画面を下から上にスワイプし、【設定】 > 【アプリ】 > 【カメラ】 > 【通知】 > 【QRコード読み取り】で設定を選びます。【デフォルト】を選び【ポップアップ】をオンにすると、カメラの画面にメッセージが表示されます。

関連項目

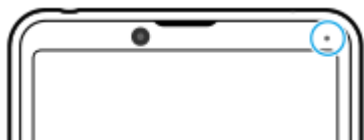
- [静止画や動画を撮影する](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

通知LEDを使う

通知LEDは電池の使用状況などさまざまな状態を知らせるランプです。お買い上げ時は通知LEDが点滅するように設定されていますが、手動でオフにすることもできます。



ご注意

- 通知LEDを使わないように設定していても、充電残量が15%より少なくなったときは、点灯または点滅します。

1 画面を下から上にスワイプし、**〔設定〕 > 〔アプリと通知〕 > 〔通知の設定〕** をタップする。

2 **〔通知着信時のLED点滅〕** スイッチをタップし、**オン/オフ**を設定する。

項目がない場合は、**〔詳細設定〕**の中をご確認ください。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

ステータスバーと通知パネル

画面上部のステータスバーには、新着情報などをお知らせする通知アイコンや、電池残量やネットワークの電波状態など、状態をお知らせするステータスアイコンが表示されます。



1. 通知アイコン
2. ステータスアイコン
3. ステータスバー

通知内容を確認するには

表示されている通知アイコンの内容は、通知パネルを開いて確認できます。

1. ステータスバーを上から下にスワイプする。
通知パネルが開きます。

ヒント

- 通知の  (展開アイコン) をタップして通知を開くと、通知内容の詳細を確認できます。通知によっては、詳細が表示されない場合もあります。
- 通知からアプリをポップアップウィンドウに表示するには、 (ポップアップウィンドウアイコン) をタップします。アプリによってはポップアップウィンドウで表示できないものもあります。
- 通知パネルから通知を削除するには、通知を左右にスワイプします。通知によっては、削除できない場合もあります。
- 通知設定を変更するには、通知を左右にドラッグして  (設定アイコン) をタップするか、通知を長押しします。

関連項目

- [ステータスアイコンについて](#)
- [通知アイコンについて](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

ステータスアイコンについて

主なステータスアイコンの例

	(電波状態アイコン) 通信規格 (LTEなど) も表示されます。
	(電波受信不可状態アイコン)
	(データローミングアイコン) 国際ローミング中に表示されます。
	(Wi-Fiシグナルアイコン) Wi-Fi接続でデータ通信中を示します。アイコンの左に表示される番号は、通信中のWi-Fi規格によって異なります。
	(Wi-Fi接続エラーアイコン) Wi-Fi接続可能な状態でインターネット接続ができない場合に表示されます。 このアイコンは通信可能なポータルネットワークに接続しようとしている時にも表示されます。ログインできると×マークが消えます。 Googleが使用できない場所では本機がWi-Fiに接続可能な状態であっても表示されることがあります。
	(電池状態アイコン)
	(充電中アイコン)
	(STAMINAモードアイコン)
	(データセーバーアイコン)
	(機内モードアイコン)
	(Bluetoothアイコン) Bluetooth機器に接続中に表示されます。
	(マイクの消音アイコン)
	(スピーカーフォンアイコン)
	(サイレントモードアイコン)
	(消音アイコン)
	(バイブレーションアイコン)
	(アラームアイコン)
	(GPS位置情報取得アイコン)

ご注意

- すべてのアイコンが記載されているわけではありません。アイコンは予告なく変更になる場合があります。

関連項目

- [充電する](#)
- [STAMINAモードを使う](#)
- [データ使用に関する設定をする](#)
- [Bluetooth機能をオン／オフする](#)
- [音量やバイブレーションを設定する](#)
- [アラームを使う](#)
- [位置情報サービスを利用する](#)
- [通知アイコンについて](#)

F-412-100-02(1) Copyright 2021 Sony Corporation

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

通知アイコンについて

主な通知アイコンの例

	(新着SMSアイコン)
	(着信中／発信中／通話中アイコン)
	(不在着信アイコン)
	(通話保留アイコン)
	(転送電話アイコン) 電話の転送が設定されています。
	(データのダウンロード中アイコン)
	(データのアップロード中アイコン)
	(Androidの設定アイコン) 本機の基本的な設定が可能です。
	(最新ソフトウェアのインストールの通知アイコン) ソフトウェアの更新が可能です。
	(システムアップデートアイコン) システムの更新が可能です。
	(ソフトウェア更新ダウンロード中アイコン)
	(ソフトウェア更新インストール中アイコン)
	(いたわり充電アイコン)
	(非表示の通知ありアイコン) 表示されていない通知がある場合に表示されます。

ご注意

- すべてのアイコンが記載されているわけではありません。アイコンは予告なく変更になる場合があります。

関連項目

- [ステータスアイコンについて](#)
- [いたわり充電を使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

充電する

コンセントにつないで充電できます。充電中も本機を使用できます。

電池が消耗している場合、充電開始までに10分ほど時間がかかることがあります。この間、充電アイコンは表示されず、画面は暗い状態のままの場合があります。電池が完全に消耗した状態から満充電になるには数時間かかります。充電速度は周囲の気温など充電環境によって異なります。

充電には必ず本機に対応のACアダプターおよびUSBケーブルをお使いください。対応のACアダプターおよびUSBケーブルについては以下のサイトをご確認ください。

<https://xperia.sony.jp/product/accessories/>

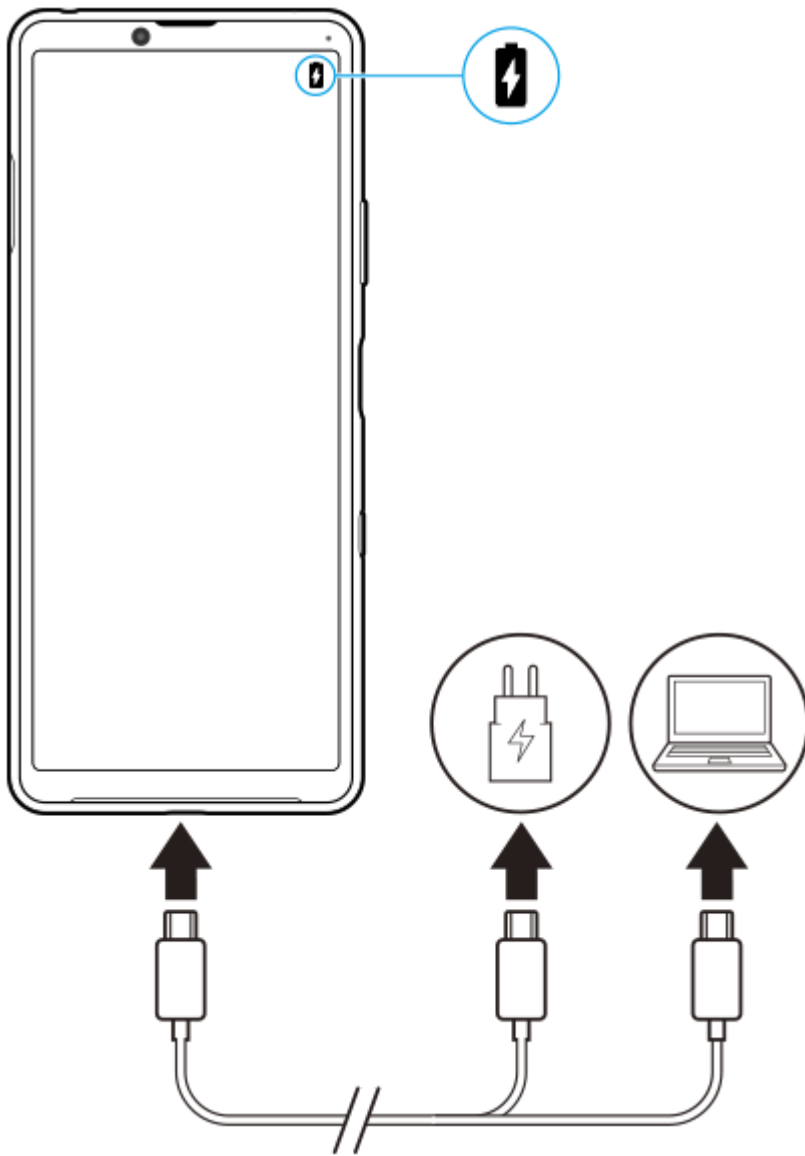
他のACアダプターおよびUSBケーブルを使った場合、充電時間が長い、充電できない、または故障などの原因となります。

ご注意

- 内蔵電池を交換するときは、必ず相談窓口へお問い合わせください。本機の内蔵電池を取り外そうとしないでください。故障の原因となり、保証の対象外となることがあります。

ヒント

- ACアダプターを使って充電すると、パソコンを使って充電するよりも充電時間は短くなります。充電中も本機を使用できます。



- ① USBケーブルの一方をACアダプターまたはパソコンにつなぐ。
- ② USBケーブルのもう一方を本機のUSB接続端子につなぐ。
充電／通知LEDが点灯します。
- ③ 充電が完了したら、USBケーブルをまっすぐに引き抜いて取り外す。
USBケーブルのプラグ部分を曲げたりしないでください。

充電／通知LEDの状態について

- 緑：充電中。電池残量は90%以上です。
- オレンジ：充電中。電池残量は15%～89%です。
- 赤：充電中。電池残量は14%以下です。

関連項目

- [内蔵電池について](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

いたわり充電を使う

いたわり充電を使うと、内蔵電池の劣化を抑えることができます。いたわり充電機能は、本機の充電パターンを検出し、定期的な充電開始と停止の時間帯を学習します。充電が開始されてから90%になるまでは通常のスピードで充電し、その後は電源から取り外される時刻を予測し、その時刻直前に満充電になるように、充電スピードがコントロールされます。充電開始、停止時刻は手動でも設定できます。電池の充電上限を80%または90%に設定すると、電池の劣化をさらに抑えることができます。

ご注意

- いたわり充電は、数日間にわたって連日4時間以上の定期的な充電サイクルを検出した場合に、充電をコントロールします。

1 画面を下から上にスワイプし、**【設定】 > 【バッテリー】 > 【いたわり充電】**をタップする。

2 **スイッチ**をタップして、いたわり充電を**オン／オフ**する。

3 画面の指示に従って、**設定**を行う。

お買い上げ時は**【自動】**に設定されています。

ヒント

- 学習した充電サイクルのパターンはいたわり充電機能に保存されます。いたわり充電をオフにしても、再度オンにしたときは学習したパターンを使って充電をコントロールします。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン
Xperia 10 III Lite XQ-BT44

STAMINAモードを使う

STAMINAモードは、一部の機能を制限して電池の消費を抑える機能です。STAMINAモードをオンにすると、画面が「ダークテーマ」に切り替わり、暗くなります。制限される動作や機能は、節電レベルによって異なります。STAMINAモードは、「スケジュールの設定」で設定した電池残量に応じて自動的にオン／オフするように設定できます。

- 1 画面を下から上にスワイプし、「設定」 > 「バッテリー」 > 「STAMINAモード」をタップする。
- 2 「今すぐ ON にする」をタップする。

ヒント

- 特定のアプリを省電力機能の対象外に設定すると、STAMINAモードの対象外にもなります。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

内蔵電池について

内蔵電池を効率よく使用するには、各アプリや機能の電池の使用量を確認しておくことをおすすめします。

また、「いたわり充電」を使うと電池の劣化を抑えることができます。

本機はお買い上げ時点で省電力機能が有効になっており、バックグラウンドで動いているアプリが電池を消費することを抑えることができます。アプリを省電力の対象にしない場合は、対象外に設定することもできます。電話やSMSは省電力機能の対象にはなりません。

ご注意

- ソフトウェア更新で省電力機能の設定が変わる場合があります。

電池の消耗を抑えるには

以下の操作をお試してください。

- 画面の明るさを暗くしてください。
- 使用しないときは、Bluetooth機能、Wi-Fi、位置情報機能をオフにしてください。
- 電波の受信状態が悪い場所では、本機の電源を切るか機内モードに設定してください。
- 海外でお使いになるときはローミングではなく、Wi-Fiに接続してください。海外でのローミングは通常の使用よりも電池を消費します。
- カレンダーや連絡帳の同期設定を変更してください。
- 電池の消費量が多いアプリを確認し、そのアプリの電池使用設定を変更してください。
- アプリの通知レベルを変更してください。
- アプリの位置情報の使用をオフにしてください。
- 使用しないアプリをアンインストールしてください。
- 音楽を聴くときは、ソニー製ハンズフリー機器を使ってください。本機のスピーカーを使って音楽を聴くより、電池の消費を抑えます。
- 再起動してください。

電池の使用状況を確認するには

1. 画面を下から上にスワイプし、[設定] > [バッテリー] をタップする。
電池残量と残り時間の予測が表示されます。
2. ⋮ (オプションアイコン) > [電池使用量] をタップする。
電池を使用したアプリや機能を、一覧で見ることができます。

関連項目

- [充電する](#)
- [いたわり充電を使う](#)
- [アプリの電池の使用状況を確認する](#)
- [画面の設定をする](#)
- [Bluetooth機能をオン/オフする](#)
- [位置情報サービスを利用する](#)
- [再起動/リセットする](#)
- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

アプリの電池の使用状況を確認する

アプリが使っている電池の使用状況を確認したり、設定を変更したりします。

- 1 画面を下から上にスワイプし、**〔設定〕** > **〔アプリと通知〕** をタップする。
- 2 希望のアプリをタップし、**〔バッテリー〕** をタップする。
項目がない場合は、**〔詳細設定〕** の中をご確認ください。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

ソフトウェアの更新について

ソフトウェアを更新すると、機能、操作性、品質などが向上します。ソフトウェアの更新が可能な場合、ステータスバーに（システムアップデートアイコン）が表示されます。ソフトウェアの更新は手動でもできます。

ソフトウェアの更新はワイヤレス接続のままネットワーク経由で可能ですが、ネットワーク経由では特定の更新ができない場合があります。その場合は、パソコンでXperia Companionを使って更新してください。Xperia Companionのインストールやシステム環境について詳しくは、<https://xperia.sony.jp/support/>をご確認ください。

ソフトウェアの更新の際は次のことにご注意ください。

- 本機のメモリーに十分な空き容量があることを確認してください。
- 本体のソフトウェアやアプリの更新を行うと、ヘルプガイドに記載されていない機能が追加されることがあります。また、Androidのバージョンがアップデートしないソフトウェアの更新もあります。

ソフトウェアの更新があるかを確認するには

画面を下から上にスワイプし、[設定] > [システム] > [詳細設定] > [ソフトウェア更新] をタップしてください。

関連項目

- [ネットワーク経由でソフトウェアを更新する](#)
- [パソコンでソフトウェアを更新する](#)
- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

ネットワーク経由でソフトウェアを更新する

ネットワーク経由でソフトウェアを更新するときは、モバイルネットワークか、Wi-Fi経由で行います。モバイルネットワークでソフトウェア更新が行えるかどうかは、通信事業者によって異なります。通信費が発生しないようにするには、Wi-Fi経由で更新することをおすすめします。

- 1 画面を下から上にスワイプし、**〔設定〕 > 〔システム〕 > 〔詳細設定〕 > 〔ソフトウェア更新〕** をタップする。
- 2 画面の指示に従って、ソフトウェアを更新する。

ソフトウェアを自動で更新するには

1. 画面を下から上にスワイプし、**〔設定〕 > 〔システム〕 > 〔詳細設定〕 > 〔ソフトウェア更新〕** をタップする。
2. **⋮**（オプションアイコン） > **〔設定〕 > 〔システムの自動更新〕** をタップする。
3. 希望の項目を選択する。

アプリを自動で更新するには

1. 画面を下から上にスワイプし、**〔設定〕 > 〔システム〕 > 〔詳細設定〕 > 〔ソフトウェア更新〕** をタップする。
2. **⋮**（オプションアイコン） > **〔設定〕 > 〔アプリの自動更新〕** をタップする。
3. 希望の項目を選択する。

関連項目

- [ソフトウェアの更新について](#)
- [パソコンでソフトウェアを更新する](#)
- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

パソコンでソフトウェアを更新する

特定の更新がネットワーク経由で行えない場合は、パソコンに接続してXperia Companionを使って更新します。

- 1 USBケーブルを使って本機とパソコンを接続する。
- 2 画面を上から下にスワイプして、USB接続の通知をタップする。
- 3 [タップしてその他のオプションを表示します。] をタップし、[ファイル転送] をタップする。
- 4 パソコンで自動的にXperia Companionが起動しない場合は、手動で起動する。
パソコンがインターネットに接続していることを確認してください。
更新がある場合は、パソコンの画面にポップアップウィンドウが表示されます。
- 5 画面の指示に従って、ソフトウェアを更新する。

ご注意

- パソコンにXperia Companionがインストールされていない場合は、インストールしてください。Xperia Companionについて詳しくは、<https://xperia.sony.jp/support/>をご確認ください。

関連項目

- [ソフトウェアの更新について](#)
- [ネットワーク経由でソフトウェアを更新する](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

再起動／リセットする

本機が正常に動作しない、または正常に再起動しない場合は、強制的に再起動することができます。強制的に再起動しても、各種設定やデータは消去されません。

また、本機をリセットし、設定をお買い上げ時の状態に戻すこともできます。リセットは正しく動作しない場合に有効ですが、本機内のデータがすべて削除されます。本機の重要なデータは、必ず事前にバックアップしてからリセットしてください。

本機が起動しなかったり、ソフトウェアをリセットしたい場合は、Xperia Companionで修復が可能です。Xperia Companionについて詳しくは、<https://xperia.sony.jp/support/>をご確認ください。

再起動する

ご注意

- 充電が少ない場合は再起動できないことがあります。事前に充電してから、再起動してください。

1. 電源キーを長押しする。
2. [再起動] をタップする。
本機が再起動します。

強制的に再起動する／電源を切る

1. 本体が振動するまで、電源キーと音量キー（+）を同時に長押しする。
2. 次のいずれかを行う。
 - 強制的に再起動する場合：本体が振動したら指を離す。
再起動します。
 - 強制的に電源を切る場合：そのまま電源キーと音量キー（+）を押し続ける。
数秒後に本体が3回振動し、電源が切れます。

ヒント

- 電源が入らないときは、強制的に再起動すると解決する場合があります。

お買い上げ時の状態にリセットする（出荷時リセット）

ご注意

- リセットを中断しないでください。故障の原因となります。
- リセットすると、本機のデータがすべて削除されます。内部ストレージの重要なデータは必ず事前にバックアップしてください。

1. 画面を下から上にスワイプし、[設定] > [システム] > [詳細設定] > [リセット オプション] をタップする。
2. [すべてのデータを消去（出荷時リセット）] > [すべてのデータを消去] をタップする。
3. 必要に応じて画面ロックの解除パターンやパスワード、ロックNo.（PINコード）を入力する。
4. [すべてのデータを消去] をタップする。

ヒント

- 出荷時リセットを行っても、Androidのバージョンは変わりません。（以前のバージョンには戻りません。）

関連項目

- [ソフトウェアを修復する](#)
- [設定メニューを使う](#)

F-412-100-02(1) Copyright 2021 Sony Corporation

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

ソフトウェアを修復する

Xperia Companionを使うと、本機のソフトウェアを修復できます。ロック画面の解除パスワードやロックNo.（PINコード）、パターンを忘れた場合は、Xperia Companionの修復機能を使ってセキュリティレイヤーを削除することができます。

この操作にはお使いのGoogleアカウントの詳細情報が必要です。ソフトウェアの修復を行うと、ソフトウェアが再インストールされるため、お客様の個人データが消去されることがあります。

ソフトウェアの更新後や出荷時リセット後に、本機が動かない、何度も再起動する、起動しないなどの症状が起こる場合は、一度強制的に電源を切って、再度電源を入れてください。それでも改善されない場合は、ソフトウェアの修復を行ってください。

ご注意

- ソフトウェアの修復を行う前に、Googleアカウントのユーザー名とパスワードを確認してください。セキュリティの設定によっては、ソフトウェア修復後の再起動の際にこれらの情報が必要になることがあります。

① パソコンにXperia Companionがインストールされていることを確認する。

② Xperia Companionを起動し、[ソフトウェアの修復]をクリックする。

③ 画面の指示に従ってソフトウェアの修復を完了する。

関連項目

- [再起動／リセットする](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

アプリをリセットする

アプリが反応しなくなるなど問題が起きたときに、アプリをリセットしたりデータを削除します。
アプリをリセットしても、アプリのデータは削除されません。

- 1 画面を下から上にスワイプし、**〔設定〕 > 〔アプリと通知〕** をタップする。
- 2 **アプリをすべて表示する。**
- 3 **⋮ (オプションアイコン) > 〔アプリの設定をリセット〕 > 〔設定リセット〕** をタップする。

アプリのデータを削除するには

1. 画面を下から上にスワイプし、**〔設定〕 > 〔アプリと通知〕** をタップする。
2. アプリやサービスを選び、**〔ストレージとキャッシュ〕 > 〔ストレージを消去〕 > 〔OK〕** をタップする。
選択したアプリのデータが削除されます。

アプリのキャッシュを削除するには

1. 画面を下から上にスワイプし、**〔設定〕 > 〔アプリと通知〕** をタップする。
2. アプリやサービスを選び、**〔ストレージとキャッシュ〕 > 〔キャッシュを削除〕** をタップする。

アプリの標準設定を消去するには

1. 画面を下から上にスワイプし、**〔設定〕 > 〔アプリと通知〕** をタップする。
2. アプリやサービスを選び、**〔詳細設定〕 > 〔デフォルトで開く〕 > 〔設定を消去〕** をタップする。

ご注意

- アプリによっては、アプリのデータやキャッシュの削除、標準設定の消去ができない場合があります。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

ストレージについて

内部ストレージは、ダウンロードしたり転送したコンテンツを保存でき、日常の使用で容量が少なくなってしまうこともあります。空き容量が低下して、本機の動きが悪くなったり、アプリが突然終了するようになった場合は、以下の方法を試してみてください。

- 使用していないアプリを終了する。
- 使用しないアプリをアンインストールする。
- 静止画や動画、音楽などのデータを内部ストレージからmicroSDカードやGoogleのサービスに移動する。

ご注意

- microSDカードは別売です。
- microSDカードが認識されないときは、本機でmicroSDカードを初期化してください。初期化すると、microSDカードに保存されているデータがすべて削除されますのでご注意ください。

ストレージの使用容量を確認するには

画面を下から上にスワイプし、[設定] > [ストレージ] をタップしてください。

関連項目

- [ストレージの空き容量を増やす](#)
- [アプリやサービスを強制終了する](#)
- [Googleアカウントを使ってデータを同期する（Android機器）](#)
- [microSDカードを使ってデータを移行する（Android機器）](#)
- [microSDカードをフォーマットする](#)
- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

ストレージの空き容量を増やす

本機の動きが悪くなったり、アプリが突然シャットダウンしたりする場合は、ストレージの空き容量を増やしてみてください。ストレージの空き容量を増やすには、不要なフォルダーやファイルを削除したり、アプリをアンインストールしてください。

1 画面を下から上にスワイプし、**〔設定〕 > 〔ストレージ〕** をタップする。

2 **〔ストレージを管理〕** をタップする。

microSDカードが挿入されている場合は**〔内部共有ストレージ〕 > 〔ストレージを管理〕** をタップしてください。

3 画面下部の**〔見る〕** をタップする。

4 **フォルダーやファイルを削除する、またはアプリをアンインストールする。**

- フォルダーやファイルを削除するには、**〔内部ストレージ〕** から削除するフォルダーやファイルを選び、**⋮**（オプションアイコン）をタップして削除してください。
- アプリをアンインストールするには、**〔アプリ〕** から不要なアプリを選び、**⋮**（オプションアイコン）をタップしてアンインストールしてください。

関連項目

- [ストレージについて](#)
- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

アプリやサービスを強制終了する

本機の動きやアプリの動作が正常ではない場合は、アプリやサービスの強制終了をお試しください。

- 1 画面を下から上にスワイプし、**【設定】** > **【アプリと通知】** をタップする。
- 2 アプリまたはサービスを選び、**【強制停止】** > **【OK】** をタップする。

関連項目

- [ストレージについて](#)
- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

microSDカードをフォーマットする

microSDカードが認識されない場合は、本機でmicroSDカードをフォーマット（初期化）し直してください。

- 1 画面を下から上にスワイプし、**【設定】 > 【ストレージ】 > 【SDカード】** をタップする。
アプリを選ぶ画面が表示される場合は、アプリを選んでください。
- 2 **⋮（オプションアイコン） > 【ストレージの設定】 > 【フォーマット】** をタップし、画面の指示に従ってフォーマットする。

ご注意

- フォーマットすると、microSDカード内のデータはすべて削除されます。事前にデータをバックアップしてください。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

モバイルデータ通信について

モバイルデータ通信を使用してインターネットに接続できます。

- 本機は、インターネット接続を必要とするアプリを起動すると、自動的にインターネットに接続するように設定されています。（ご利用のサービスプロバイダーによって異なる場合もあります。）
自動で接続できない場合やご利用のサービスプロバイダーからの指定がある場合は、ご利用のサービスプロバイダーからの情報に従って、アクセスポイントの設定を行ってください。
- インターネットに接続するためのアクセスポイントを希望の設定に変えることもできます。設定を変更した後でインターネットに接続できなくなったときは、設定をリセットしてください。
- モバイルデータ通信の設定は、画面を下から上にスワイプし、**〔設定〕** > **〔ネットワークとインターネット〕** > **〔モバイル ネットワーク〕** から変更できます。SIMを2つ使用している場合は、設定するSIMを選んでください。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

Wi-Fi®の電波を受信しやすくするには

Wi-Fiの電波状況が悪いときは次のことをお試しください。

- Wi-Fiアクセスポイントの近くに、本機を移動する。
- Wi-Fiアクセスポイントを、障害物や電波を干渉する機器から離す。
- 本機のWi-Fiアンテナ部を手で覆わない。

関連項目

- [各部の名称](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

データ使用に関する設定をする

モバイルネットワークまたはWi-Fi経由で一定期間の間にどれくらいのデータがやり取りされたかを確認できます（個々のアプリのデータ使用量など）。モバイルネットワークではデータ使用量の上限を設定して、警告を表示することもできます。

データ使用量を抑える

1. 画面を下から上にスワイプし、[設定] > [ネットワークとインターネット] > [データセーバー] をタップする。
項目がない場合は、[詳細設定] の中をご確認ください。
2. スイッチをタップしてデータセーバーをオンにする。

データ使用量を警告する、モバイルデータ通信の上限を設定する

1. モバイルデータ通信がオンになっていることを確認する。
2. 画面を下から上にスワイプし、[設定] > [ネットワークとインターネット] > [モバイル ネットワーク] をタップする。
SIMを2つ使用している場合は、SIMを選んでください。
3. [データ使用量の警告と制限] をタップする。
項目がない場合は、[詳細設定] の中をご確認ください。
4. 必要に応じて、以下の操作を行う。
 - データ使用量の警告を設定するには
[データ使用量を警告] スイッチをタップしてオンにし、[警告するデータ使用量] をタップして警告レベルを変更する。
 - モバイルデータ通信の上限を設定するには
[データ使用量を制限] スイッチをタップしてオンにし、[データ上限] をタップしてデータ使用量の上限を変更する。

ご注意

- モバイルデータ使用量が上限に達した場合、モバイルデータ通信は自動的にオフになります。

ヒント

- モバイルデータ使用量をリセットする日付を設定できます。[データ使用量の警告と制限] の下にある[モバイルデータの使用サイクル] をタップし、リセットする日付を設定してください。

データ使用量を確認する

1. 画面を下から上にスワイプし、[設定] > [ネットワークとインターネット] をタップする。
2. 必要に応じて、以下の操作を行う。
 - モバイルデータ通信量を確認するには
[モバイル ネットワーク] > [アプリのデータ使用量] をタップする。
SIMを2つ使用している場合は、SIMを選んでから[アプリのデータ使用量] をタップする。
 - Wi-Fiデータ使用量を確認するには
[Wi-Fi] > [Wi-Fi データ使用量] をタップする。

個々のアプリのデータ使用量を調節する

バックグラウンドでのモバイルデータの使用をオフにしたり、データ通信の制限を設定できます。

1. 画面を下から上にスワイプし、[設定] > [アプリと通知] をタップする。
2. 希望のアプリをタップし、[モバイルデータと Wi-Fi] をタップする。
3. 希望の項目を設定する。

ご注意

- アプリのデータ使用の設定を変更すると、そのアプリの動作に影響があることがあります。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)

F-412-100-02(1) Copyright 2021 Sony Corporation

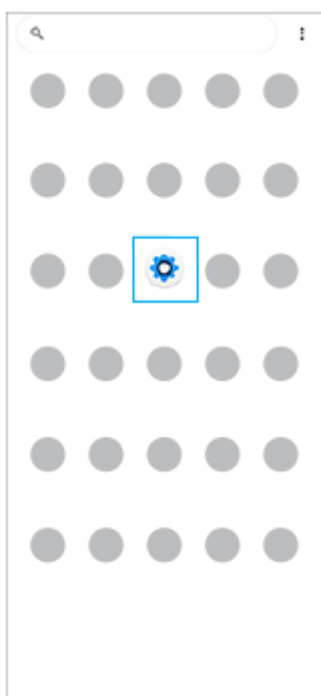
スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

設定メニューを使う

設定メニューからさまざまな設定を確認したり変更したりできます。

1 画面を下から上にスワイプし、[設定]を探す。



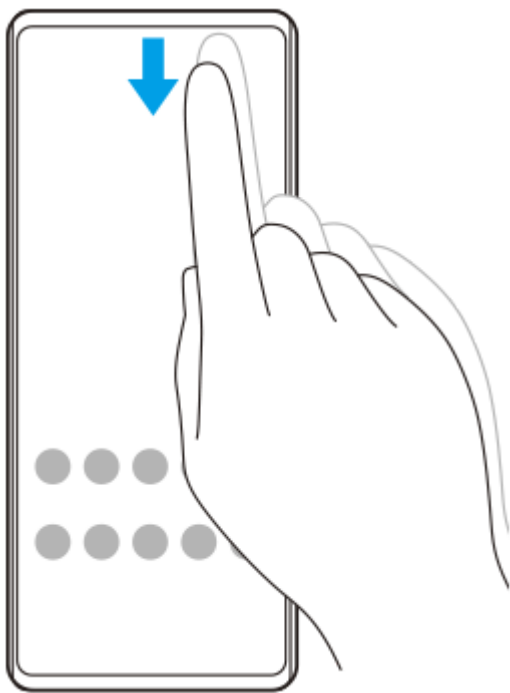
2 [設定]をタップし、希望のメニューを選ぶ。

該当するメニューがわからないときは、画面上の検索窓の「設定を検索」にキーワードを入力して探せます。



クイック設定パネルから〔設定〕画面を開くには

1. 画面上部を上から下に2回スワイプする。



2. ⚙️（設定アイコン）を探す。



3. ⚙️（設定アイコン）をタップする。

ヒント

- ナビゲーションバーにホームボタン、戻るボタン、履歴キーボタンが表示されていない場合は、〔設定〕 > 〔システム〕 > 〔ジェスチャー〕 > 〔システム ナビゲーション〕 > 〔3 ボタン ナビゲーション〕を選んでください。
- 本機の情報は〔設定〕 > 〔デバイス情報〕から確認できます。

関連項目

- [音量やバイブレーションを設定する](#)
- [着信音や通知音を設定する](#)
- [画面の設定をする](#)
- [日付と時刻を設定する](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

音量やバイブレーションを設定する

音量とバイブレーションは音量キーまたは設定メニューで設定できます。
着信音やメディア音、アラーム、通話音の音量を調節したり、バイブレーションモードに設定したりできます。

ご注意

- アプリの設定は、ここで設定する音量やバイブレーションより優先されます。

音量を調節する

1. 音量キー（＋／－）を押す。
音量調節バーが表示され、メディアの音量を調節できます。
メディアの音量を素早くオン／オフするには、（メディア音量アイコン）をタップしてください。
2. （音量調節アイコン）をタップし、スライダーをドラッグして、通話音や着信音、通知音、アラームの音量を調節する。
〔詳細〕をタップすると、その他の音の設定ができます。

バイブレーションモードを使う

1. 音量キー（＋／－）を押す。
音量調節バーが表示されます。
2. 音量調節バーの上に表示されるアイコンを、（バイブレーションアイコン）が表示されるまで繰り返しタップする。

電話着信時にバイブレーションを使う

1. 画面を下から上にスワイプし、〔設定〕 > 〔音設定〕 > 〔着信時のバイブレーション〕をタップする。
2. 希望の項目を選ぶ。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

着信音や通知音を設定する

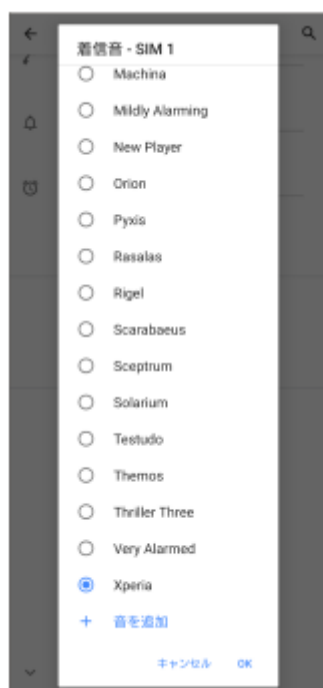
着信音を設定する

SIMごとに着信音を選べます。好みの音楽ファイルを着信音に設定することもできます。

1. 画面を下から上にスワイプし、[設定] > [音設定] をタップする。
2. [着信音 - SIM 1] または [着信音 - SIM 2] をタップする。



3. 一覧から希望の音を選ぶ。
[音を追加] をタップすると、一覧にない音楽ファイルなども選べます。



4. [OK] をタップする。

通知音を設定する

1. 画面を下から上にスワイプし、[設定] > [音設定] > [通知音] をタップする。
2. 一覧から希望の音を選ぶ。
[通知の追加] をタップすると、一覧にない音楽ファイルなども選べます。
3. [OK] をタップする。

ヒント

- 着信音や通知音を鳴らさずにバイブレーションだけに設定するには、一覧から [設定しない] を選んでください。
- その他の音の設定は、画面を下から上にスワイプし、[設定] > [音設定] > [詳細設定] をタップし、希望の項目のスイッチをオン/オフしてください。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

画面の設定をする

画面の自動回転や明るさ、画質などを設定できます。本機で表示する静止画や動画の画質を設定することもできます。

1 画面を下から上にスワイプし、**〔設定〕** > **〔画面設定〕** をタップする。

2 希望の項目をタップし、設定する。

スライダーやスイッチをタップして設定してください。

主な設定項目

- **画質設定** :
本機で表示される静止画や動画の画質を調節します。
- **ホワイトバランス** :
希望の設定を選んでください。〔カスタム〕を選ぶと、スライダーでホワイトバランスを調節できます。
- **明るさのレベル** :
スライダーで画面の明るさを調整します。
〔明るさの自動調節〕を使って、周囲の環境によって自動的に明るさを調節することもできます。
- **ダークテーマ** :
画面の背景を暗い色に変更できます。
- **画面の自動回転** :
本機の向きに合わせて自動的に画面を回転します。
- **ナイトライト** :
画面が黄色みがかかった色になり、暗い場所でも画面が見やすくなります。

ご注意

- 有機EL画面では、明るい画面が停止した状態で長時間表示されていると、残像や色残りが起こる場合があります。

ヒント

- 〔画面の自動回転〕がオフになっていても、本機の向きを変えたときに （回転アイコン）が表示された場合は、（回転アイコン）をタップして縦／横画面表示を切り替えることができます。

関連項目

- [ホーム画面を操作する](#)
- [設定メニューを使う](#)
- [分割画面を使う](#)
- [スクリーンショットを撮る](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

アプリの自動更新を設定する

アプリが自動的に更新されるように設定していると、気付かぬうちに大容量のデータがダウンロードされている場合があります。アプリの自動更新を不可にする、Wi-Fi経由でのみ自動更新するなどに設定し、通信費を抑えることもできます。アプリの自動更新は、Google Playストアで設定してください。

- 1 ホーム画面で、（Playストアアイコン）をタップする。
- 2 アカウントアイコンをタップし、設定メニューの中からアプリの自動更新を探してタップする。
- 3 希望の項目を設定する。

関連項目

- [Googleアカウントを設定する](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

位置情報サービスを利用する

位置情報サービスを利用すると、地図やカメラなどのアプリで、モバイルネットワークまたはWi-Fiネットワークからの情報とGPS（全地球測位システム）情報を使用しておおよその位置を特定できます。

現在地を確認する場合などは、位置情報サービスをオンにする必要があります。

詳しくはsupport.google.com/をご覧ください。

1 画面を下から上にスワイプし、**【設定】 > 【位置情報】**をタップする。

2 **スイッチ**をタップして**位置情報の使用**をオンにする。

GPSの精度を上げるには

本機で初めてGPSを使う場合、位置情報が特定されるまでに数分かかることがあります。位置情報を特定しやすくするため、屋外の空が見える場所で停止し、GPSアンテナ部を手で覆わないようにしてください。GPSの電波は雲やプラスチックは通りますが、建物や山などは電波を遮断してしまいます。数分たってもまだ位置情報が特定されない場合は、別の場所に移動してみてください。

関連項目

- [各部の名称](#)
- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

日付と時刻を設定する

日付と時刻、タイムゾーンを設定します。

1 画面を下から上にスワイプし、**〔設定〕** > **〔システム〕** > **〔日付と時刻〕** をタップする。

項目がない場合は、**〔詳細設定〕** の中をご確認ください。

2 希望の項目を設定する。

- 手動で日付と時刻を設定する場合は、**〔ネットワークの時刻を使用する〕** をタップし、スイッチをオフにして変更したい項目を設定してください。
- 手動でタイムゾーンを設定する場合は、**〔ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する〕** をタップし、スイッチをオフにして変更したい項目を設定してください。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)
- [アラームを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

カメラ画面の各部の名称



1. HDR（High Dynamic Range）設定
2. メインカメラとフロントカメラの切り替え
3. カメラ設定
4. 位置情報（ジオタグ）取得状況
5. ズームキー（+/-）
6. サムネイル
タップして撮影済みの静止画や動画を見たり、共有したり、編集したりします。
7. 静止画と動画の切り替え
8. 撮影ボタン
静止画や動画を撮影します。
9. 戻るまたはカメラを終了する
10. 撮影方法切り替え
11. 前回使った撮影方法へ切り替え
12. レンズ切り替え
画角変更ボタンをタップして、レンズを切り替えます（x1、x2、x0.6）。
13. 明るさと色合いを調整
14. シーン認識アイコンおよび状況認識アイコン
被写体や環境に合わせてシーンや状況を自動認識すると、アイコンが表示されます。
15. ぼけ（ぼかし）効果の設定
16. フラッシュの設定
フラッシュや照明などが発光する状態になるとアイコンの色が変わります。
17. フロントカメラレンズ

関連項目

- [静止画や動画を撮影する](#)
- [シーン認識と状況認識について](#)
- [撮影に便利な機能を使う](#)
- [撮影方法を選ぶ](#)
- [静止画や動画を見る](#)
- [背景をぼかして撮影する（ぼけ効果）](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

静止画や動画を撮影する

カメラの基本的な使いかたを説明します。

1 次のいずれかの操作を行ってカメラを起動する。

- ロック画面で  (カメラアイコン) をスワイプする。
 - ホーム画面またはアプリ画面で  (カメラアイコン) をタップする。
 - 電源キーを2回連続して押す。
- この機能を使うには、画面を下から上にスワイプし、[設定] > [システム] > [ジェスチャー] > [カメラを起動] を選び、スイッチをオンにしてください。

2 画面をスワイプして静止画 (静止画アイコン) または動画 (動画アイコン) を選ぶ。

3 撮影ボタンをタップする。

静止画撮影の場合、撮影ボタンを長押しすると連続撮影できます。メインカメラでのみ使用できます。

ご注意

- 設定によっては使用できない機能があります。

ヒント

- 静止画や動画を撮影するときは、指紋やほこりなどがレンズに付着していないことを確認してください。
- セルフタイマーを使うと撮影時の手ブレを防止できます。
- 本機のストレージの使用状況を確認してください。静止画や動画は解像度が高くなるほど、大きなメモリー容量が必要になります。
- QRコードをスキャンできます。

撮影ボタンについて

撮影状況や起動している機能に応じて、撮影ボタンは次のように変わります。

-  (撮影ボタン) : 静止画を撮影する。
-  (スタートボタン) : 動画撮影を開始/再開する。
-  (一時停止ボタン) : 動画撮影を一時停止する。
-  (停止ボタン) : 動画撮影を停止する。
-  (セルフタイマーオンアイコン) : セルフタイマー機能がオンになっている状態。
-  (画面タッチ撮影アイコン) : 画面タッチ撮影機能がオンになっている状態。
-  (画面タッチ撮影とセルフタイマーアイコン) : 画面タッチ撮影機能とセルフタイマー機能がオンになっている状態。

- 設定メニューを使う
- シーン認識と状況認識について
- 静止画や動画を見る
- セルフタイマー を使う
- いろいろな方法で静止画を撮影する
- 撮影に便利な機能を使う
- QRコードを読み取る

F-412-100-02(1) Copyright 2021 Sony Corporation

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

シーン認識と状況認識について

本機のカメラは被写体や環境に応じてシーンや状況を自動で判別します。料理や人物、夜景など、最適な設定を自動で選択します。

シーン認識

シーンを認識すると次のアイコンとガイドが表示されます。

アイコン	ガイド
	料理
	マクロ
	ソフトスナップ
	赤ちゃん
	逆光&人物
	逆光
	夜景&人物
	夜景
	低照度
	風景
	スポットライト
	ドキュメント
	ペット

状況認識

状況を認識すると次のアイコンが表示されます。

アイコン	状況
	動き
	歩き検出
	固定

関連項目

- [カメラ画面の各部の名称](#)

- 静止画や動画を撮影する

F-412-100-02(1) Copyright 2021 Sony Corporation

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

フラッシュを使って撮影する

被写体や撮影環境に合わせ、フラッシュを使います。

- 1 カメラを使用中に、撮影画面でフラッシュアイコン（（オートフラッシュアイコン）など）をタップする。
- 2 必要に応じてフラッシュの設定を変更する。
- 3 撮影ボタンをタップする。

ご注意

- 選択している撮影方法や静止画撮影モード、動画撮影モードによって、設定できる項目は異なります。

ヒント

- 背景が被写体より明るいときは、[強制発光] を使用すると被写体がはっきり撮影できます。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

撮影に便利な機能を使う

撮影時に便利な基本的な設定を紹介します。

カメラ設定を変更する

1. カメラを使用中に、撮影画面で⚙️（設定アイコン）をタップする。
2. 画面をスクロールして希望の項目を選ぶ。



ご注意

- 静止画撮影モードと動画撮影モードによって選べる項目は異なります。

ヒント

- ⓘ（機能紹介アイコン）をタップすると、カメラのさまざまな機能の紹介を見ることができます。

静止画の画像サイズを変更する

1. カメラを使用中に、撮影画面で⚙️（設定アイコン）> [画像サイズ] をタップする。
2. 希望の設定を選ぶ。

メインカメラとフロントカメラを切り替える

1. カメラを使用中に、撮影画面で📷（カメラ切り替えアイコン）をタップする。
メインカメラとフロントカメラが切り替わります。

ヒント

- カメラを使用中に画面を下（画面が縦向きするとき）または右（画面が横向きするとき）にスワイプしてもメインカメラとフロントカメラが切り替わります。

レンズを切り替えてズームを使う

メインカメラを使用中は、レンズを切り替えることができます。

1. メインカメラを使用中に、（画角変更アイコン）を繰り返しタップし、[x1]（広角）、[x2]（望遠）、または[x0.6]（超広角）を選ぶ。
2. ズームする。
 - （画角変更アイコン）を左右（画面が縦向きするとき）または上下（画面が横向きするとき）にドラッグする。
 - 画面をピンチイン／ピンチアウトする。
 - ズームキー（+/-）を押す。

ご注意

- マニュアルモードが選ばれているときは、（画角変更アイコン）を使ってレンズを切り替えることはできません。

関連項目

- [静止画や動画を撮影する](#)
- [QRコードを読み取る](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

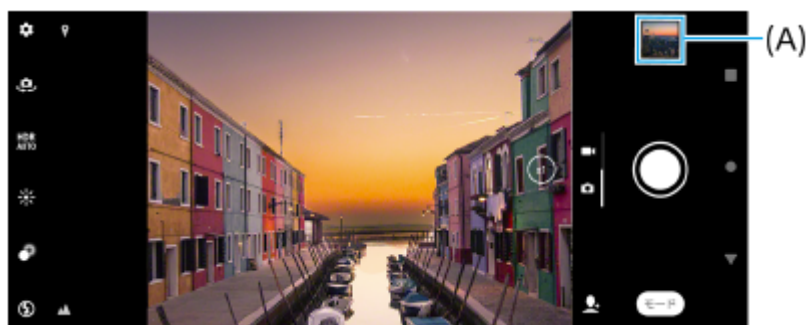
静止画や動画を見る

撮影後にGoogle フォトアプリで静止画や動画を見たり共有したりできます。

カメラを使用中に、静止画や動画を見る

色合いを変更したりトリミングするなどの編集もできます。

1. カメラを使用中に、サムネイル (A) をタップして静止画または動画を開く。



2. 画面を左右にスワイプして、見たい静止画や動画を選ぶ。

ヒント

- (共有アイコン) をタップして静止画や動画を共有する、または (編集アイコン) をタップして編集もできます。画面をタップすると、アイコンの表示/非表示が切り替わります。

過去に撮影した静止画や動画を見る

1. Google フォトアプリを起動する。

ヒント

- Google フォトアプリについて詳しくは、support.google.com/photosをご覧ください。

関連項目

- [静止画や動画を撮影する](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

撮影方法を選ぶ

目的に合わせて、さまざまな撮影方法を選べます。

- 1 カメラを使用中に、撮影画面で[モード]をタップし、希望の撮影方法を選ぶ。

主な撮影方法

主な撮影方法は以下の通りです。

-  (ナイトモードアイコン) : 夜間や暗い場所での撮影でも、クリアな画像を撮影します。
-  (スローモーションアイコン) : 動画撮影後にスローモーション効果を追加します。
-  (マニュアルアイコン) : カメラ設定を手動で変更して撮影します。
-  (ポートレートセルフイーアイコン) : 肌の明るさや目の大きさを調整して自分撮り(セルフイー撮影)をします。
-  (クリエイティブエフェクトアイコン) : 色合いや画像のタッチを変えるなどの効果を追加して撮影します。
-  (パノラマアイコン) : 広角のパノラマ撮影をします。

ご注意

- 撮影方法によって、設定できる項目は異なります。

関連項目

- [ナイトモードを使う](#)
- [スローモーション機能を使う](#)
- [ポートレートセルフイー機能を使う](#)
- [クリエイティブエフェクトを使う](#)
- [パノラマ撮影する](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

いろいろな方法で静止画を撮影する

静止画撮影に便利な機能をご紹介します。

画面をタップして静止画を撮影する

1. カメラを使用中に、撮影画面で （設定アイコン） > [画面タッチ撮影] > [ON] または [フロントカメラのみON] をタップする。
2. 設定メニューを閉じる。
設定が保存されます。
3. 画面をタップする。
静止画を撮影します。

ヒント

- この設定をすると、動画撮影モードでも画面をタップして撮影できます。

動画撮影中に静止画を撮影する

動画撮影中に希望の場面で静止画を撮ることができます。

1. 動画の撮影中に （カメラアイコン）をタップする。
静止画を撮影します。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

セルフタイマー を使う

一定時間後にシャッターを切りたいときはセルフタイマーを使ってください。また、本機を固定することで、手ブレを防止して撮影できます。

- 1 カメラを使用中に、撮影画面で⚙️（設定アイコン） > [セルフタイマー] をタップし、シャッターが切れるまでの時間を選ぶ。

時間を選んだら設定メニューを閉じてください。

フロントカメラを使用中は、📷（セルフタイマーアイコン）をタップし、設定を選びます。

- 2 撮影ボタンをタップする。

カウントダウンが表示され、設定した時間が経過するとシャッターが切れます。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

露出・色合い・明るさについて

最適な露出で撮影するためには光量の調整が必要です。例えば、顔を撮影するときと、暗いところで動くものを撮影するときでは、異なる露出設定が必要です。

撮影のヒント

本機のカメラ機能では周囲の明るさを自動的に検知し、撮影に最適な状態に調整しますが、撮影状況によって手動で調整することもできます。

撮影状況に合わせて、次のように光量を調整してください。

- 日の出や日没のような状況では、陰や光の具合、風景の色彩などを見て光量を調整してください。
- 光量が不足する場所での撮影では、フラッシュを使用する場合、使用しない場合と両方を試してください。フラッシュを使用しない方が画質がよい場合があります。

関連項目

- [露出を調整する](#)
- [色合い・明るさを調整する](#)
- [セルフタイマー](#) を使う
- [フラッシュを使って撮影する](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

色合い・明るさを調整する

本機のカメラは、周囲の環境を自動的に検知し、最適な明るさや色合い、露出を自動的に調整します。必要に応じて手で調整することもできます。例えば、屋内の撮影で画像が黄みがかってしまうとき、またはフラッシュを使用すると画像が青みがかってしまうときなどは、色合いを調整します。

- 1 カメラ使用中に、撮影画面で※（色合い・明るさボタン）をタップする。
- 2 スライダーをドラッグして色合いと明るさを調整する。
✕（キャンセルアイコン）をタップすると、色合いと明るさは元に戻ります。
- 3 撮影ボタンをタップする。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

露出を調整する

光の少ない場所で撮影するには、露出を調整します。静止画撮影時には「マニュアル」モードを使って露出を調整できます。

- 1 カメラを使用中に、撮影画面で [モード] >  (マニュアルアイコン) をタップする。
- 2 [EV] をタップし、スライダーをドラッグして調整する。
 (マニュアルアイコン) をタップすると、設定項目の表示／非表示が切り替わります。
- 3 撮影ボタンをタップする。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

シャッタースピードを調整する

シャッタースピードとは、シャッターを開いたままにし、イメージセンサーを光にさらす時間のことです。シャッタースピードが速いと被写体の動きを止め、また、シャッタースピードが遅ければ動いている被写体が連続して流れるように写る「モーションブラー」と呼ばれる効果をつけることができます。シャッタースピードは自動で調整されますが、手動で設定することもできます。

- 1 カメラを使用中に、撮影画面で [モード] >  (マニュアルアイコン) をタップする。
- 2 [SS] をタップし、スライダーをドラッグして調整する。
 (マニュアルアイコン) をタップすると、設定項目の表示／非表示が切り替わります。
- 3 撮影ボタンをタップする。

ご注意

- メインカメラでの撮影時のみ設定できます。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

ISO感度を変更する

ISO感度とは、光に対する感度です。ISO値が低ければ低感度となり、ISO値が高ければ高感度になります。動いている被写体や、フラッシュを使わず暗い場所で撮影するときはISO値を高く設定してください。明るすぎる場所で撮影するときは、ISO値を低く設定してください。

ISO感度は自動で調整されますが、手動で変更することもできます。

- 1 カメラを使用中に、撮影画面で[モード] >  (マニュアルアイコン) をタップする。
- 2 [ISO] をタップし、スライダーをドラッグしてISO感度を調整する。
 (マニュアルアイコン) をタップすると、設定項目の表示／非表示が切り替わります。
- 3 撮影ボタンをタップする。

ご注意

- メインカメラでの撮影時のみ設定できます。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

HDR (High Dynamic Range) 静止画撮影をする

逆光で被写体の背景が明るいときなど、明暗に差がある状況でも見た目に近い臨場感のある撮影ができます。露光（HDR）は自動で調整されますが、手動で設定することもできます。

- 1 カメラを使用中に、画面をスワイプし （静止画アイコン）を選ぶ。
- 2 （HDRアイコン）をタップし、希望の設定を選ぶ。
- 3 撮影ボタンをタップする。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

ホワイトバランスを調整する

ホワイトバランスは、撮影環境での光の色の影響を補正する機能です。ホワイトバランスは自動で調整されますが、手で設定することもできます。

- 1 カメラを使用中に、撮影画面で [モード] >  (マニュアルアイコン) をタップする。
- 2 [WB] をタップし、 (曇りホワイトバランスアイコン) など、状況に合わせて希望の設定を選ぶ。
 (マニュアルアイコン) をタップすると、設定項目の表示／非表示が切り替わります。
- 3 撮影ボタンをタップする。

設定項目の詳細

-  (自動ホワイトバランスボタン) : 周囲の光源に合わせて自動的に調整します。
-  (曇りホワイトバランスアイコン) : 曇り空や日陰に合わせて調整します。
-  (太陽光ホワイトバランスアイコン) : 屋外で太陽光の下での撮影に合わせて調整します。
-  (蛍光灯ホワイトバランスアイコン) : 蛍光灯のような照明に合わせて調整します。
-  (電球ホワイトバランスアイコン) : 電球のような照明に合わせて調整します。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

測光機能で露出を調整する

撮影画面の明るさを測定して、最適な露出を自動的に判定します。測光は静止画または動画の撮影時に自動的に調整されます。静止画の特定の場所に合わせて調整したいときは、手動で設定することもできます。

- 1 カメラを使用中に、撮影画面で [モード] >  (マニュアルアイコン) をタップする。
- 2  (設定アイコン) > [測光] をタップし、希望の設定を選ぶ。
- 3 設定メニューを閉じる。
設定が保存されます。
- 4 撮影ボタンをタップする。

ご注意

- メインカメラでの撮影時のみ設定できます。

設定項目の詳細

- **顔**：顔を検出して測光し、適度な明るさになるように露出を調整します。
- **中央**：撮影画面の中央に重心を置き、画面全体で測光して露出を調整します。
- **スポット**：撮影画面内の一点のみで測光して露出を調整します。
- **平均**：画面全体の平均的な明るさを測光して露出を調整します。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

フォーカスを調整する

本機のカメラは被写体の顔を自動的に検出してフォーカスを合わせる機能を搭載しています。メインカメラで静止画を撮影するときに、フォーカスを調整できます。



自動でフォーカスを調整する

1. カメラを使用中に、撮影画面でフォーカスを合わせたいエリアをタップする。
○ (フォーカス設定アイコン) が表示され、タップしたエリアがフォーカスされます。
フォーカスしたいエリアを変更するときは、もう一度画面をタップしてください。
2. 撮影ボタンをタップする。

ご注意

- 撮影方法によっては使用できない場合があります。

手動でフォーカスを調整する

1. カメラを使用中に、撮影画面で [モード] >  (マニュアルアイコン) をタップする。
2. ○ (フォーカス設定アイコン) をタップする。
3. スライダーをドラッグして調整する。
 (マニュアルアイコン) をタップすると、設定項目の表示/非表示が切り替わります。
4. 撮影ボタンをタップする。

タッチフォーカスを使う

フォーカスを合わせる被写体をタッチして設定できます。撮影する前にタッチフォーカスの種類を選べます。

1. カメラを使用中に、撮影画面で [モード] >  (マニュアルアイコン) をタップする。
2.  (設定アイコン) > [タッチで合わせる] をタップし、[フォーカスのみ] または [フォーカスと明るさ] を選ぶ。
 - フォーカスのみ：指定した位置を自動的にフォーカスします。
 - フォーカスと明るさ：指定した位置を自動的にフォーカスし、明るさを調整します。
3. 設定メニューを閉じる。
設定が保存されます。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

人物の撮影について

フォーカスが合っている顔には色のついた枠が表示されます。複数の枠が表示されているときは、フォーカスを合わせたい顔の枠を選択できます。

スマイルシャッター機能を使用しているときに笑顔が検出されると、カメラは自動的に静止画を撮影します。動画の撮影中は、笑顔が検出されるたびに静止画が撮影されます。



ヒント

- 手ブレ防止のため、安定した場所にカメラを設置し、セルフタイマーを使用してください。

スマートフォン
Xperia 10 III Lite XQ-BT44

美肌効果を使用して撮影する

肌がなめらかに見えるように撮影できます。

- 1 カメラを使用中に、撮影画面で （設定アイコン）をタップする。
- 2 「美肌効果」スイッチをタップする。
- 3 設定メニューを閉じる。
設定が保存されます。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

スマイルシャッター機能を使用して撮影する

笑った瞬間の写真を撮影することができます。

- 1 カメラを使用中に、撮影画面で （設定アイコン）をタップする。
- 2 「オート撮影」または「オート撮影(録画中)」をタップし、「スマイルシャッター」を選ぶ。
- 3 設定メニューを閉じる。

設定が保存され、笑顔が検出されると、カメラが自動的に静止画を撮影します。

スマイルシャッターを設定中は、笑顔を検知するレベルメーターが表示され、笑顔のレベルに応じて上下します。



ご注意

- この設定は、「ビデオサイズ」に「4K (16:9)」または「4K (21:9)」が選ばれている場合は使用できません。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

セルフィーを撮影する

カメラを切り替えて、自分撮りができます（セルフィー撮影）。光が少ない場所で撮影するときは、カメラを安定した場所に設置し、セルフタイマーを使うなど、カメラをしっかりと固定した状態で撮影すると、ブレのない写真を撮影できます。

- 1 カメラを使用中に、セルフィーで使用する撮影モード（静止画／動画）を選ぶ。
- 2 （カメラ切り替えアイコン）をタップする。
- 3 セルフタイマーを使うときは、（セルフタイマーアイコン）をタップし、秒数を設定する。
- 4 撮影ボタンをタップする。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

ハンドシャッターを設定する

手のひらを向けると、カメラが自動的に撮影するように設定できます。フロントカメラでのみ有効です。

- 1 カメラを使用中に、撮影画面で （カメラ切り替えアイコン）をタップする。
- 2 （設定アイコン）をタップする。
- 3 [オート撮影] > [ハンドシャッター] をタップする。
- 4 設定メニューを閉じる。
設定が保存されます。
- 5 手のひらをカメラのほうにかざす。
カメラが手のひらを認識するとタイマーがスタートし、自動的に静止画を撮影します。

ヒント

- セルフタイマーを設定しているときは、手のひらが認識されてから設定したタイマーがスタートします。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

被写体を追尾して撮影する（タッチ追尾フォーカス）

撮影画面で被写体をタップすると、カメラが自動的に被写体の動きを追尾し、ピントを合わせます。

- 1 カメラを使用中に、撮影画面で （設定アイコン）をタップする。
- 2 [タッチ追尾フォーカス] スイッチをオンにする。
- 3 設定メニューを閉じる。
設定が保存されます。
- 4 画面上で追尾する被写体をタップする。
- 5 撮影ボタンをタップする。

ご注意

- メインカメラでの撮影時のみ設定できます。
- この設定は、[ビデオサイズ] に [4K (16:9)] または [4K (21:9)] が選ばれている場合は使用できません。

ヒント

- マニュアルモードを選択中にタッチ追尾フォーカスを使うには、（設定アイコン） > [タッチで合わせる] > [タッチ追尾フォーカス] を選びます。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

ビデオ手ブレ補正を使って動画を撮影する

動画撮影時の手ブレを補正します。

- 1 カメラを使用中に、撮影画面をスワイプし、（動画アイコン）を選択する。
- 2 （設定アイコン）をタップする。
- 3 「ビデオ手ブレ補正」スイッチをオンにする。
- 4 設定メニューを閉じる。
設定が保存されます。
- 5 撮影ボタンをタップする。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

背景をぼかして撮影する（ぼけ効果）

メインカメラでは、ぼけ効果を使って撮影できます。ぼけ効果を使うと、被写体の背景をぼかして手前の被写体が引き立つように撮影できます。

- 1 カメラを使用中に、撮影画面で （ぼけアイコン）をタップする。
- 2 スライダーをドラッグしてぼけ効果を調整する。
- 3 撮影ボタンをタップする。

ご注意

- ぼけ効果を使用しているときは、ズームは使用できません。

ヒント

- ぼけ効果を使用しているときは、被写体に近づきすぎたり、離れすぎたりすると注意のメッセージが表示されます。ぼけ効果を有効に使うために、被写体との距離を調節してください。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

ナイトモードを使う

夜間や暗い場所でも、クリアな画像が撮影できます。

- 1 カメラを使用中に、撮影画面で [モード] >  (ナイトモードアイコン) をタップする。
- 2 撮影ボタンをタップする。
撮影が終わるまで、カメラを動かさないでください。

スマートフォン
Xperia 10 III Lite XQ-BT44

スローモーション機能を使う

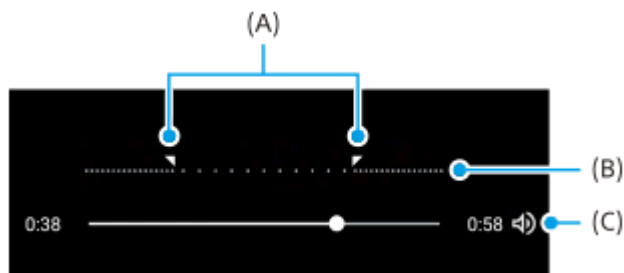
スローモーションモードで撮影した動画を、撮影後に希望のシーンをスローにして保存できます。

ご注意

- 「スローモーション」は屋内や暗い場所など光量が不足する場所で撮影すると、画質が粗くなったり画像が暗くなったりすることがあります。

撮影後にスロー再生する（スローモーション）

1. カメラを使用中に、撮影画面で「モード」> （スローモーションアイコン）をタップする。
2. 撮影ボタンをタップする。
録画が始まります。
3. （停止ボタン）をタップする。
録画が終了します。
4. サムネイルをタップして動画を開く。
5. ハンドル（A）をドラッグして、スローモーションタイムライン（B）上でスロー再生したい部分を選ぶ。
(A) ハンドル
(B) スローモーションタイムライン
(C) 音声のオン/オフ



スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

ポートレートセルフイー機能を使う

さまざまなエフェクトを使って自分撮りができます。

- 1 カメラを使用中に、撮影画面で[モード] >  (ポートレートセルフイーアイコン) をタップする。
- 2 希望のエフェクトを選び、スライダーをドラッグして補正具合を調整する。
エフェクトは複数選択できます。
- 3 撮影ボタンをタップする。

設定項目の詳細

- (ぼけアイコン) : 背景をぼかします。
- ✧ (美肌アイコン) : 人物の肌をなめらかに補正します。
- ※ (肌の明るさアイコン) : 肌の明るさを変更します。
- 👁 (目の大きさアイコン) : 目の大きさを変更します。
- 😊 (輪郭補正アイコン) : 輪郭を補正します。

ヒント

- 🪞 (ミラーアイコン) > [ON] をタップすると、反転させずに自分撮りができます。
- 👆 (画面タッチ撮影アイコン) > [ON] をタップすると、画面をタッチするだけで自分撮りができます。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

クリエイティブエフェクトを使う

色合いや画像のタッチを変えて撮影できます。

- 1 カメラを使用中に、撮影画面で[モード] >  (クリエイティブエフェクトアイコン) をタップする。
- 2 スワイプしてフィルターを選び、希望のフィルターをタップしてエフェクトを確認する。
- 3  (クリエイティブエフェクト適用アイコン) をタップする。
選んだフィルターが適用されます。
- 4 撮影ボタンをタップする。

ヒント

- フィルターを切り替えるには、 (フィルター切り替えアイコン) をタップします。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

パノラマ撮影する

本機を動かしてパノラマ写真を撮影できます。

- 1 カメラを使用中に、撮影画面で [モード] >  (パノラマアイコン) をタップする。
- 2 撮影ボタンをタップする。
- 3 撮影画面に表示される白い枠をガイドラインに合わせながら、本機をゆっくり動かす。
- 4 撮影を止める位置で、再度撮影ボタンをタップする。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

画像サイズを変更する

解像度が高くなるほど、大きなメモリー容量が必要になります。日常使いなど、たくさん撮影するときは、低解像度に設定することをおすすめします。メモリー使用量を確認し、メモリーの空き容量が低下したら、静止画や動画を他の保存先に転送したりしてメモリーの空き容量を増やしてください。

静止画や動画の保存先は、カメラ設定メニューで設定できます（内部ストレージまたはmicroSDカード）。

1 カメラを使用中に、撮影画面で （設定アイコン）をタップする。

2 「画像サイズ」／「ビデオサイズ」をタップする。

3 希望の画像サイズを選び、設定メニューを閉じる。

設定が保存されます。

ご注意

- 静止画撮影モードか動画撮影モードかによって、設定できる項目は異なります。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

位置情報を保存する

静止画／動画に詳細な撮影場所を示す位置情報のタグ（ジオタグ）を付けるかどうかを設定します。ジオタグを付けるには、ネットワークに接続し、GPSを有効にする必要があります。

① カメラを使用中に、撮影画面で （設定アイコン）をタップする。

② 「位置情報を保存」スイッチをオンにする。

位置情報アイコン

- （GPS位置情報取得アイコン）：撮影する静止画や動画に位置情報が付与されます。
- （GPS位置情報未検出アイコン）：位置情報取得中。撮影しても位置情報は付与されません。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

グリッドラインを表示する

撮影画面に目安となるグリッドラインを表示するかどうかを設定します。

- 1 カメラを使用中に、撮影画面で （設定アイコン）をタップする。
- 2 【グリッドライン】スイッチをオンにする。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

プレビュー画像を表示する（静止画オートレビュー）

撮影した直後にプレビューを表示するかどうかを設定します。

- 1 カメラを使用中に、撮影画面で （設定アイコン）をタップする。
- 2 「静止画オートレビュー」をタップする。
- 3 希望の設定を選ぶ。

設定項目の詳細

- **ON** : 静止画の撮影後、画面のサムネイルの表示エリアにプレビュー画像が約3秒表示されます。
- **フロントカメラのみON** : フロントカメラで撮影したときのみ画面のサムネイルの表示エリアにプレビュー画像が約3秒表示されます。
- **OFF** : プレビュー画像が表示されずに、直接保存されます。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

音量キー設定する

音量キーに割り当てる機能を設定します。

- 1 カメラ使用中に、撮影画面で （設定アイコン）をタップする。
- 2 「音量キー設定」をタップする。
- 3 希望の設定を選ぶ。

設定項目の詳細

- **ズーム**：音量キーをズームキーとして使用できます。
- **音量**：音量キーとして使用できます。
- **シャッター**：音量キーをシャッターキーとして使用できます。

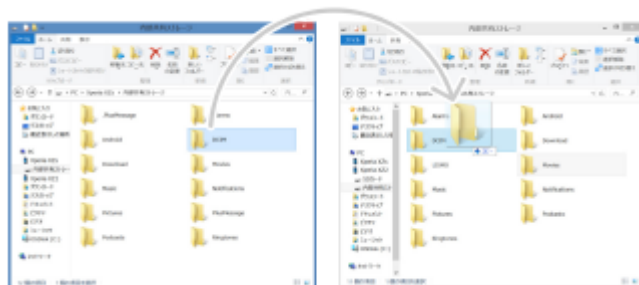
スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

パソコンから音楽を転送する

パソコンから本機に音楽を転送するには、次の2つの方法があります。

- USBケーブルで本機とパソコンを接続し、本機でアクセスを許可する。パソコンの画面で、転送したい音楽データを本機のMusicフォルダーなどにドラッグアンドドロップする。



- パソコン上でGoogleドライブに音楽データを保存する。本機でGoogleアカウントにログインし、データを同期する。

ご注意

- ミュージックアプリは、音楽ファイル形式によっては対応していない場合があります。

関連項目

- [本機をUSBアクセサリに接続する](#)
- [Googleアカウントを設定する](#)
- [Googleアカウントを使ってデータを同期する（Android機器）](#)
- [音楽を再生する](#)
- [ミュージックアプリの機能について](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

音楽を再生する

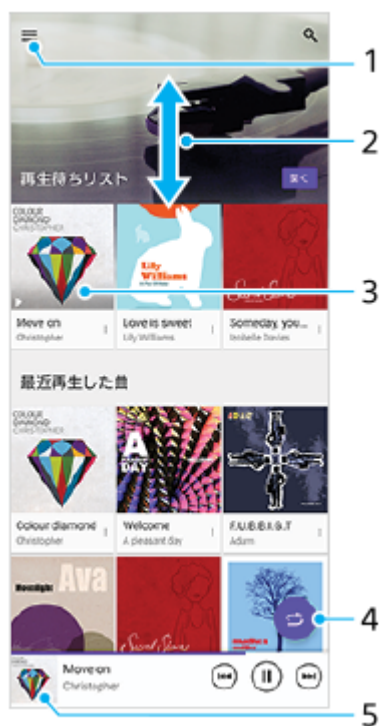
音楽を再生するにはミュージックアプリを使用します。

ミュージックアプリの再生画面



1. 再生画面を縮小する
2. 曲の検索
3. 再生待ちリストを表示
4. オプションを表示
5. アルバムアート
6. お気に入りに追加
7. 再生経過時間
8. プレイリストに追加
9. プログレスバー : バーをタップまたはドラッグして曲の任意の場所に移動できます。
10. 再生時間
11. リピートボタン
12. 曲頭出し/早送りボタン
13. 再生/一時停止ボタン
14. 曲頭出し/早戻しボタン
15. シャッフルボタン

ミュージックアプリのホーム画面



1. ミュージックアプリのメニューを表示
2. 上下にスクロールして内容を確認する
3. 再生待ちリスト：希望の曲をタップすると、再生が始まります。
4. シャッフルボタン：すべての曲を順不同に再生します。
5. 再生画面を表示

ご注意

- 著作権保護技術（DRM）で管理されたコンテンツは再生できない場合があります。

関連項目

- [パソコンから音楽を転送する](#)
- [ミュージックアプリの機能について](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

ミュージックアプリの機能について

ミュージックアプリを使うときに便利な機能を紹介します。

音楽情報を編集する／アルバムアートを設定する

1. ミュージックアプリで音楽を再生中に、アルバムアートをタップし、[ミュージック情報を編集] をタップする。
2. 情報を編集する。
3. （編集アイコン）をタップし、アルバムアートを設定する。
4. 編集が終わったら[保存] をタップする。

バックグラウンド再生をする

1. 音楽を再生中に （ホームボタン）をタップする。
ミュージックアプリの画面が消え、バックグラウンドで再生を続けます。
画面を上から下にスワイプし、ミュージックアプリの通知をタップする、または、（ミュージックアイコン）をタップすると、ミュージックアプリの画面を再表示できます。

関連項目

- [パソコンから音楽を転送する](#)
- [音楽を再生する](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

おサイフケータイについて

おサイフケータイとは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用いた、電子マネーやポイントなどのサービスの総称です。

NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。FeliCaを含む非接触ICカード機能やリーダー／ライター（R/W）機能などがご利用いただけます。

- おサイフケータイを利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービスプロバイダーのおサイフケータイ対応アプリをダウンロードする必要があります。
- おサイフケータイ対応サービスのご利用にあたっては、本機に搭載されたFeliCaチップに、サービスのご利用に必要なデータを書き込む場合があります。

ご利用にあたっては「[おサイフケータイ対応サービスご利用上の注意](#)」を必ずお読みください。

おサイフケータイのご利用にあたって

- 本機の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイの修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FeliCaチップ内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。

関連項目

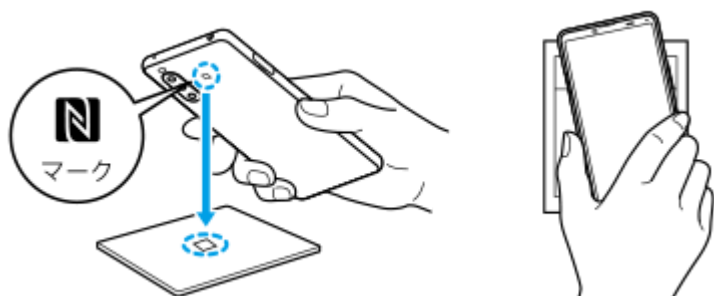
- [おサイフケータイ対応サービスご利用上の注意](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

リーダー／ライターとデータをやりとりする

Nマークをリーダー／ライターにかざすだけでFeliCaチップ内のデータをやりとりできます。



- Nマークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- Nマークはリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- Nマークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本機を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- Nマークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

関連項目

- [NFC（Near Field Communication）機能を使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

おサイフケータイを設定する

おサイフケータイを利用するにはNFC機能をオンにしてください。

- 1 画面を下から上にスワイプし、**【設定】 > 【機器接続】 > 【接続の設定】 > 【NFC/おサイフケータイ】** をタップする。
- 2 **【NFC/おサイフケータイ】** スイッチをタップしてオンにする。
NFC機能がオンになり、おサイフケータイ対応サービスが利用できるようになります。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

おサイフケータイ対応サービスを利用する

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、本機のおサイフケータイアプリで利用したいサービスごとに登録、設定を行ってください。

1 画面を下から上にスワイプし、【おサイフケータイ】をタップする。

初めてお使いになるときは、チュートリアルが表示されます。また、初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 サービスを選択し、設定する。

3 本機のNマークを読み取り機にかざす。

ご注意

- 本機の電源を切っていても利用できますが、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少ない場合や電源を入れてから一定の時間は、利用できなくなることがあります。
- 本機の「STAMINAモード」や「データセーバー」の設定に関わらず、おサイフケータイ対応のアプリはおサイフケータイ対応サービスの提供に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。
- 本機の電源を入れた後、再起動後およびソフトウェアアップデート後は、画面ロックを解除してから読み取り機にかざしておサイフケータイ対応サービスをご利用ください。

ヒント

- おサイフケータイ対応アプリを起動せずに、読み取り機にかざして利用することができます。

関連項目

- [STAMINAモードを使う](#)
- [データ使用に関する設定をする](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

画面ロック中におサイフケータイの機能をロックする

画面ロック中におサイフケータイの機能をロックします。画面ロックが解除されると、自動的におサイフケータイの機能も利用できるようになります。

- 1 画面を下から上にスワイプし、**【設定】 > 【機器接続】 > 【接続の設定】 > 【NFC/おサイフケータイ】** をタップする。
- 2 **【画面ロック中はロック】** スイッチをタップしてオンにする。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

ワイヤレス接続を使ってテレビの画面に表示する

機能に対応したテレビと本機をワイヤレスで接続して、大きな画面で楽しむことができます。

スクリーンミラーリングを使ってテレビの画面に表示する

スクリーンミラーリングを使って、ワイヤレスでテレビの画面や大きなディスプレイに本機の画面を表示することができます。Wi-Fi Direct[®]接続で2つの機器を接続し、写真を楽しんだりテレビのスピーカーを使って音楽を聴くこともできます。

1. **テレビ側**：テレビの取扱説明書に従ってスクリーンミラーリング機能をオンにする。
2. **本機側**：画面を下から上にスワイプし、[設定] > [機器接続] > [接続の設定] > [スクリーンミラーリング] をタップする。
3. [開始] をタップする。
4. [OK] をタップし、機器を選ぶ。

スクリーンミラーリングを終了するには

1. 画面を下から上にスワイプし、[設定] > [機器接続] > [接続の設定] > [スクリーンミラーリング] をタップする。
2. [切断] をタップし、[OK] をタップする。

ご注意

- 「スクリーンミラーリング」に対応のテレビを使用してください。
- 「スクリーンミラーリング」を使うときは、本機のWi-Fiアンテナの部分を手などで覆わないようにしてください。
- 「スクリーンミラーリング」使用中は、Wi-Fiのネットワーク環境が画像品質に影響を与えることがあります。

ヒント

- 本機のステータスバーの通知をタップして「スクリーンミラーリング」を解除することもできます。画面を上から下にスワイプし、スクリーンミラーリングの通知の横の▼（展開アイコン）> [切断] > [OK] をタップしてください。
- その他の設定については⋮（オプションアイコン）をタップしてください。

Chromecast 対応アプリからテレビ画面に表示する

YouTubeなどのChromecastに対応したアプリでは、アプリ画面のキャストアイコンをタップし、機器を選んでテレビの画面に表示できます。

本機とテレビが同じWi-Fiネットワークに接続されている必要があります。

詳しくは、Google Castのヘルプ、[support.google.com/](https://support.google.com/cast/)をご覧ください。

ヒント

- お使いになるアプリによっては、本機でログインしているGoogleアカウントと同じGoogleアカウントでテレビ側のアプリでもログインが必要です。

関連項目

- [各部の名称](#)
- [設定メニューを使う](#)

F-412-100-02(1) Copyright 2021 Sony Corporation

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

本機をUSBアクセサリに接続する

大容量のUSBメモリーやヘッドフォン、ゲームコントローラー、キーボード、マウスなどを本機に接続するには、USBホスト変換アダプターを使用します。



- 1 USBケーブルを本機とアクセサリに接続する。
- 2 画面を上から下にスワイプし、USB接続の通知をタップする。
- 3 [タップしてその他のオプションを表示します。] をタップし、目的に合ったUSB接続モードを選ぶ。

USB の設定

- **USB の管理**：本機かUSBで接続した機器か、どちら側から操作するか選択できます。
- **USB の使用**：USB接続の目的を選択します。
 - **ファイル転送**：ファイルの転送時やソフトウェアのアップデートの際に選びます。このオプションはMicrosoft® Windows®コンピュータで使用できます。充電は初期設定で有効になっています。
 - **USB デザリング**：本機をデザリング機器として使用できます。
 - **MIDI**：楽器アプリで本機をMIDI入力機器として使用できます。
 - **データ転送なし**：[USB の管理] が [この機器] に設定されているときは、本機が充電されます。[USB の管理] が [接続済みの機器] に設定されているときは、本機を電源として、接続されているほかの機器を充電できます。

ご注意

- すべてのUSBアクセサリに対し動作を保証するものではありません。
- 本機のUSB接続端子部にはキャップは付属していません。水にぬれたあとは、USB接続端子部が完全に乾いてからUSBケーブルを接続してください。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

NFC（Near Field Communication）機能を使う

NFC機能は、最大1センチ範囲内で有効な、近接型無線通信方式です。NFCアンテナは本機の裏側にあります。Nマークを接触させるよう、もう一方の機器またはNFCリーダーに本機を近づけてください。

NFC対応機器と接続するときは、NFC機能が有効であるか確認し、画面がきちんと操作できる状態か、画面ロックが解除されているかどうかご確認ください。

ご注意

- 電源を切っていてもNFCの機能を使用できるアプリもありますが、すべての機器にこの機能があるわけではありません。

NFC機能をオン／オフするには

1. 画面を下から上にスワイプし、〔設定〕 > 〔機器接続〕 > 〔接続の設定〕 > 〔NFC/おサイフケータイ〕 をタップする。
2. 〔NFC/おサイフケータイ〕 スイッチをオンにする。

ご注意

- お使いの機器によっては、NFC接続でお使いになるときに、Wi-FiやBluetooth機能などをオンにする必要があります。

ヒント

- スピーカーやヘッドフォンなど、ソニー製のほかのNFC対応機器とも接続できます。本機のNマーク部をNFC対応機器のNFCアンテナ部にタッチします。詳細は接続先の機器の取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [Bluetooth機能をオン／オフする](#)
- [各部の名称](#)
- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

Bluetooth機能をオン／オフする

Bluetooth機能は、他のBluetooth対応機器とファイルの送受信をしたり、ハンズフリーのアクセサリなどと接続できます。Bluetooth接続は、間に障害物がなく、10メートル以内での使用をおすすめします。他の機器とBluetooth接続するにはペア設定（ペアリング）が必要です。

- 1 画面を下から上にスワイプし、**【設定】 > 【機器接続】 > 【接続の設定】**をタップする。
- 2 **【Bluetooth】**をタップする。
- 3 **スイッチ**をタップして、Bluetooth機能をオン／オフする。

ヒント

- クイック設定パネルからもBluetooth機能をオン／オフすることができます。

ご注意

- 本機はすべてのBluetooth対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが充分でない場合が考えられます。Bluetooth通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)
- [本機に名前をつける](#)
- [Bluetooth機器とペア設定する（ペアリング）](#)
- [Bluetooth機能を使ってデータを送信する](#)
- [Bluetooth機能を使ってデータを受信する](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

本機に名前をつける

本機に名前を設定できます。この名前は、Bluetooth機能をオンにすると、ほかの機器に表示されます。

- 1 画面を下から上にスワイプし、**〔設定〕** > **〔機器接続〕** > **〔新しい機器とペア設定する〕** をタップする。
- 2 **〔機器名〕** をタップする。
- 3 名前を変更する。
- 4 **〔名前を変更〕** をタップする。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)
- [Bluetooth機能をオン／オフする](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

Bluetooth機器とペア設定する（ペアリング）

本機とBluetooth機器を接続するには、最初にペア設定（ペアリング）が必要です。

一度ペア設定（ペアリング）すると、その機器のペア設定情報は本機に保存されます。

あらかじめ、接続先の機器側でBluetooth機能がオンになっていて、検出可能な状態になっていることを確認してください。

- 1 画面を下から上にスワイプし、[設定] > [機器接続] > [新しい機器とペア設定する] をタップする。

接続可能なBluetooth機器の一覧が表示されます。

- 2 ペア設定したいBluetooth機器名をタップする。

別のBluetooth機器と接続するには

1. 画面を下から上にスワイプし、[設定] > [機器接続] をタップする。
2. [以前接続されていた機器] の下にある接続したいBluetooth機器名をタップする。

Bluetooth接続のペア設定を解除するには

1. 画面を下から上にスワイプし、[設定] > [機器接続] をタップする。
2. [以前接続されていた機器] の下、接続を解除したい機器の隣にある （設定アイコン）をタップする。
3. [削除] > [このデバイスとのペア設定を解除] をタップする。

ご注意

- 接続するBluetooth機器によっては、ペアリングと接続の両方が必要になることがあります。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)
- [Bluetooth機能をオン／オフする](#)
- [本機に名前をつける](#)
- [Bluetooth機能を使ってデータを送信する](#)
- [Bluetooth機能を使ってデータを受信する](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

Bluetooth機能を使ってデータを送信する

Bluetooth機能を使ってほかの携帯電話やパソコンなどのBluetooth機器にデータを送信できます。

静止画や動画、音楽、ウェブページなどのデータが共有できます。

あらかじめ、接続先の機器側でBluetooth機能がオンになっているか、また本機の情報が見出されているかを確認してください。

- 1 本機側で送りたいデータがあるアプリを開く。
- 2 送りたいデータを開くか選択し、（共有アイコン）をタップする。
- 3 **【Bluetooth】**を選び、受信側の機器の名前をタップする。
Bluetooth機能をオンにするよう表示が出た場合は、オンにしてください。
- 4 受信側の機器で表示が出た場合は、接続を許可する。
- 5 本機側で表示が出た場合は、受信側の機器が正しいか確認する。
- 6 受信側の機器で受信するデータを許可する。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)
- [Bluetooth機能をオン／オフする](#)
- [本機に名前をつける](#)
- [Bluetooth機器とペア設定する（ペアリング）](#)
- [Bluetooth機能を使ってデータを受信する](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

Bluetooth機能を使ってデータを受信する

Bluetooth機能を使ってほかの携帯電話やパソコンなどのBluetooth機器からデータを受信できます。

静止画や動画、音楽やオーディオファイル、ウェブページなどのデータが共有できます。

あらかじめ、接続先の機器側でBluetooth機能がオンになっているか、また本機の情報が接続先の機器で検出されているかを確認してください。

1 送信側の機器から本機にデータを送信する。

2 本機にデータ受信を知らせる通知がきたら、画面を上から下にスワイプし、通知をタップする。

3 [承諾] をタップする。

データ転送が始まります。

画面を上から下にスワイプして進行状況を確認できます。

4 画面を上から下にスワイプして関連の通知をタップし、受信したデータを開く。

Bluetooth接続で受信したデータを見るには

1. 画面を下から上にスワイプし、[設定] > [機器接続] > [接続の設定] をタップする。
2. [Bluetooth で受信したファイル] をタップする。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)
- [Bluetooth機能をオン／オフする](#)
- [本機に名前をつける](#)
- [Bluetooth機器とペア設定する（ペアリング）](#)
- [Bluetooth機能を使ってデータを送信する](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

ユーザー補助設定

ユーザー補助設定について

Androidは「拡大操作」、「フォントサイズ」、「色補正」、「TalkBack」などのユーザー補助機能を提供しています。

ユーザー補助機能は、画面を下から上にスワイプし、「設定」 > 「ユーザー補助」でお使いいただけます。

ユーザー補助機能について詳しくは、support.google.com/accessibility/android をご覧ください。

関連項目

- [設定メニューを使う](#)

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

保証とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後3年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

使用上のご注意

安全のために

- **本機を継続してご使用になる場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。**
アプリ、通話、データ通信や動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本機やACアダプターの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。
- **子供や監督を必要とする方などの手の届くところに置かないでください。**
本機（付属品を含む）は磁石を使用しています。磁石を飲み込むと、窒息の危険性や腸などを傷つけ深刻な症状を引き起こすおそれがあります。磁石を飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
- **医療機器に近づけないでください。**
本機（付属品を含む）は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与えるおそれがあります。本機をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本機のご使用前に担当医師にご相談ください。

取り扱いについてのご注意

- **お手入れは乾いた柔らかい布で拭いてください。**
 - － 乾いた布などで強く擦ると、傷がつく場合があります。
 - － アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、表面の仕上げを傷める場合があります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近くで使用すると影響を及ぼす場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **磁気データや磁気を帯びたものに近づけないでください。**
キャッシュカードやクレジットカードなどの磁気データが消えたり、本機の誤動作の原因となります。
- **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の状態により異なります。**
- **内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。**
- **充電しながらアプリなどを長時間使用すると、内蔵電池の寿命が短くなる場合があります。**
- **フル充電や電池残量が十分でない状態で保管すると内蔵電池の性能低下の原因となります。電池残量が40パーセント程度での保管をおすすめします。**

重要なお知らせ

当社は、このヘルプガイドの内容についていかなる保証もいたしません。誤植、不正確な情報、またはプログラムや製品の改良のために必要な場合、当社は、ヘルプガイドの内容を予告なくいつでも変更することができます。当該変更は、ヘルプガイドの改訂版に反映されます。ヘルプガイドに掲載されているイラストはいずれも説明のみを目的とするものであり、実際の製品を正確に表していない場合があります。

本機では、動画や画像などの追加コンテンツをダウンロード、保存、送信することができます。このようなコンテンツの使用は、第三者に帰属する権利（適用される著作権法の制限を含むがこの限りではありません）により、制限または禁止されている場合があります。お客様は、本機にダウンロードし、または本機から送信した追加コンテンツについて全責任を負うものとし、当社は一切責任を負いません。追加コンテンツを使用する前に、お客様の用途が適切に許諾されていること、またはその他の許可が得られていることを確認してください。当社は、追加コンテンツ、または第三者のコンテンツの正確性、完全性、または品質については、一切保証しません。いかなる状況においても、当社は、お客様による追加コンテンツ、または第三者のコンテンツの不適切な使用により生じた損害については一切責任を負わないものとします。

当社は、お客様の本機のご使用により、本機に保存されているデータやファイル（連絡先、動画、画像など）が消失、変化したとしても、一切の責任を負いません。

いかなる場合においても、当社やその関連会社は、その債務不履行または不法行為により、本機に関連してお客様に損害が生じた場合、お客様に通常生じうる損害の範囲に限り、かつ本機の購入代金相当額を上限としてこれを賠償する責任を負うものとし、特別な事情から生じた損害等（損害発生を予見しまたは予見し得た場合を含みます）については一切責任を負わないものとします。ただし、当社やその関連会社は、その故意または重大な過失による債務不履行または不法行為に起因してお客様に生じた損害に対する賠償責任については、免責されないものとします。

©2021 Sony Corporation

F-412-100-02(1) Copyright 2021 Sony Corporation

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

緊急通報、緊急通報位置通知について

- 緊急通報のご利用については、ご契約の通信事業者にご確認ください。
- 本製品から緊急通報（110番・119番・118番）を行うと、お客様が発信した際の位置情報が緊急通報受理機関（警察・消防機関・海上保安庁）に通知されます。
- お客様の発信場所や電波の受信状況によっては、正確な位置が通知されないことがあります。必ず口頭で、緊急通報受理機関へお客様の電話番号と明確な現在地をお伝えください。
- 「184」を付けて発信するなど、通話ごとに発信者番号を非通知にして緊急通報を行ったときは、位置情報と電話番号は通知されません。ただし、人命などに差し迫った危険があると判断したときは、緊急通報受理機関がお客様の位置情報と電話番号を取得することがあります。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

防水／防塵性能

SIMカード／microSDカード挿入口のカバーを確実に取り付けた状態で、IPX5、IPX8の防水性能、IP6Xの防塵性能を有しています。

防水／防塵性能を維持するために

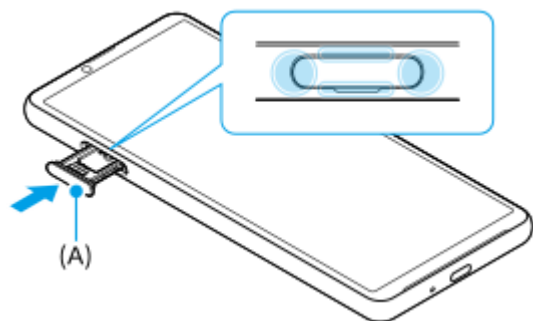
水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- SIMカード／microSDカード挿入口のカバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が侵入する原因となります。
- 受話口／スピーカー、送話口／マイク、スピーカー、セカンドマイク、ヘッドセット接続端子、USB Type-C接続端子などを尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- SIMカード／microSDカード挿入口のカバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

SIMカード／microSDカード挿入口のカバーの閉じかた

SIMカード／microSDカードのトレイは矢印の方向へ奥まで押し込みます。

カバー（A）は○部分をしっかりと押し、本体とカバーにすき間がないことを確認してください。



ご使用にあたっての注意事項

- 付属品は防水／防塵性能を有していません。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
- スピーカー、マイク、接続端子に水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- SIMカード／microSDカードのトレイのカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切って、相談窓口へご連絡ください。
- 接続端子は、濡れていたり、砂やほこりが付着した状態でご使用にならないでください。防水性能が損なわれたり、感電や回路のショートなどにより、故障・やけど・火災の原因となります。
- サウナで使用したり湿気の多い場所に長時間放置しないでください。
- 寒い屋外から暖かい浴室などに急に本機を持ち込まず、一度室内に置いて本体が温まってから持ち込んでください。
- 充電時は、本機が濡れていないか確認してください。本機が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 本機が濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから充電してください。
- 風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で充電しないでください。火災や感電の原因となります。

ご注意

- お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

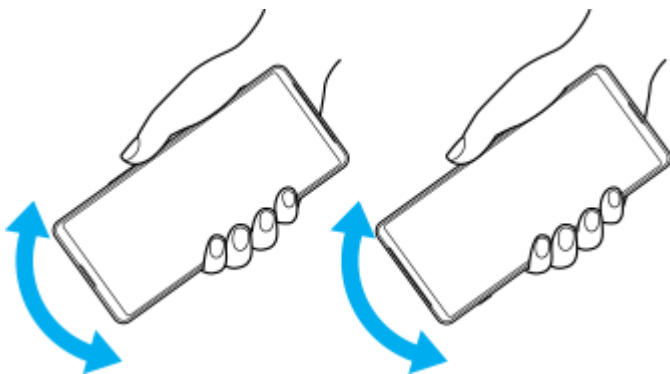
水抜きについて

本機を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

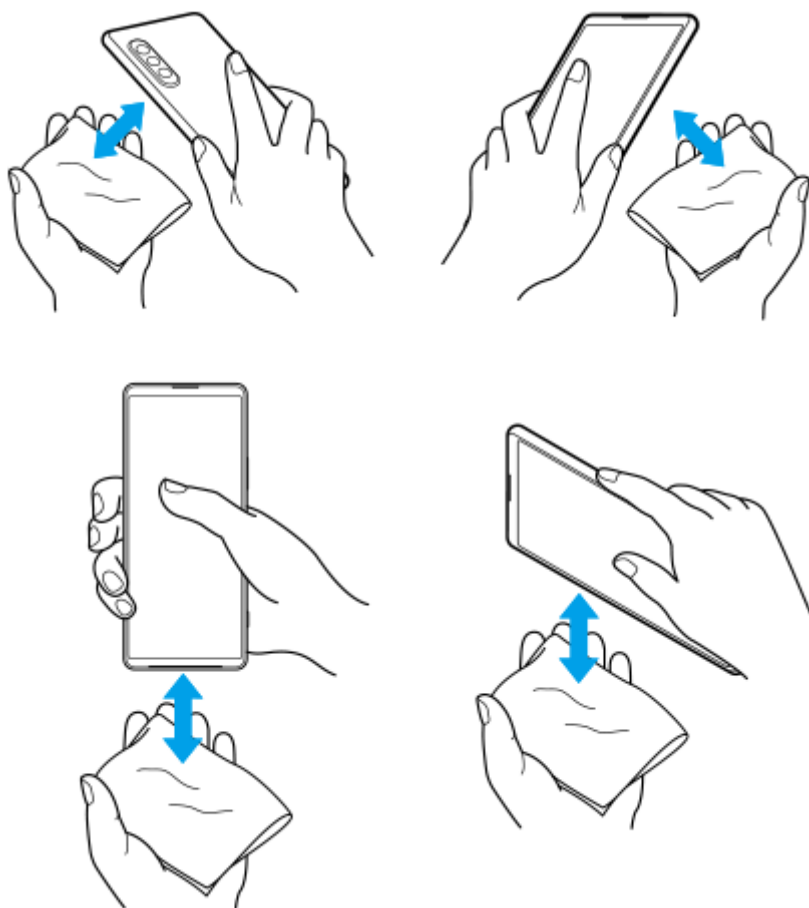
1. 本機をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取る。



2. 本機をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振り（左図）、上下の向きを変え、再度20回程度振る（右図）。



3. 本機内部より出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取る。
 - スピーカー、マイク、接続端子、キー、カバーなどは水が抜けにくいので、布などに押し付けるように下向きにして拭き取ってください。



上下の向きを変えて拭き取ってください。

4. 乾いた清潔な布などを下に敷き、数時間程度常温で放置して自然乾燥させる。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

主な仕様

本体

- **サイズ（幅 × 高さ × 厚さ）**
約68 mm × 約154 mm × 約 8.3 mm
- **重量**
約169 g
- **バッテリー容量**
4 500 mAh（内蔵電池）
- **CPU**
Qualcomm® Snapdragon™ 690 5G Mobile Platform
- **メモリ**
内蔵（RAM/ROM）：6 GB / 64 GB
外部：microSD/microSDHC/microSDXC（最大1 TB）
- **SIM**
デュアルSIM（nano SIM / eSIM）*1
- **ディスプレイ**
約6.0インチ／有機EL トリルミナス®ディスプレイ for mobile（HDR対応）／FHD+
- **カメラ**
 - － メイン
16 mm（超広角）：有効画素数約800万画素／F値2.2
27 mm（広角）：有効画素数約1 200万画素／F値1.8
54 mm（望遠）：有効画素数約800万画素／F値2.4
 - － フロント
有効画素数約800万画素／F値2.0
- **外部接続**
Wi-Fi：IEEE802.11a/b/g/n/ac
Bluetooth®：ver. 5.1
外部デバイス：USB Type-C®
- **防水／防塵**
防水（IPX5*2/IPX8*3）、防塵（IP6X*4）
- **おサイフケータイ®**
対応
- **情報取得／リンク（NFC）**
対応
- **生体認証**

対応（指紋）

- **3.5 mmオーディオジャック**

対応（4極ヘッドセット（CTIA規格準拠）対応）

- **対応バンド**

5G^{*5} : n77, n78

LTE : Band 1, 3, 4, 12, 18, 19, 38, 41

3G : Band 1, 4

GSM : 850 MHz / 900 MHz / 1.8 GHz / 1.9 GHz

本製品はnano SIMとeSIMがご利用いただけるデュアルSIM仕様です。DSDS/DSDV対応です。

- *1 5Gに対応したSIMを同時に2つ使用する場合、モバイルデータ通信に使用するSIMとして指定したSIMのみ5Gのご利用が可能です。また、eSIMを利用する場合はeSIMサービスを提供している通信事業者にてプラン契約をする必要があります。
- *2 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信機器としての機能を有することを意味します。
- *3 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに携帯電話を沈め、約30分間放置後に取り出した時に通信機器としての機能を有することを意味します。
- *4 IP6Xとは、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置内に本製品を入れて8時間塵埃をかくはんさせた後、本製品の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。
- *5 日本国内使用時のみご利用できます。通信事業者によっては、通信方式の違いにより端末が対応のバンドであっても、通信できない場合があります。詳細は各通信事業者にお問い合わせください。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種XQ-BT44の携帯電話機は、国／地域が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国／地域が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^{*1}ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するように設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国／地域の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0 W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.688 W/kg^{*2}、身体に装着した場合のSARの最大値は0.681 W/kg^{*2}です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国／地域の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

ソニー株式会社のホームページ

<https://xperia.sony.jp/product/SAR/>

*1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

*2 同時に使用可能な無線機能を含みます。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

VCCIについて

本機は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、適合マークを画面に電子的に表示しています。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、ソニー株式会社（以下「ソニー」といいます）からお客様へのソニー製スマートフォンに付属または組み込まれたソフトウェア、または指定デバイス（2条で定義）でダウンロード可能なソニー製アプリケーション・ソフトウェア（コンピューターソフトウェア、関連データ、マニュアルなどの関連書類および電子文書並びにそれらのアップデート・アップグレード版を含みます）（以下これらを総称して「許諾ソフトウェア」といいます）の使用権の許諾に関する条件を定めるものです。許諾ソフトウェアを使用いただく前に、本契約をお読み下さい。お客様による許諾ソフトウェアの使用開始をもって、本契約にご同意いただいたものとしします。

なお、許諾ソフトウェアの中には、ソニー以外のソフトウェアの権利者が定める使用許諾条件（GNU General Public license (GPL)、Lesser/Library General Public License (LGPL)を含みますが、これらに限られるものではありません）を伴うソフトウェア（以下「対象外ソフトウェア」といいます）が含まれている場合があります。対象外ソフトウェアの使用は、各権利者の定める使用許諾条件に従っていただくものとしします。

第1条（総則）

許諾ソフトウェアは、日本国内外の著作権法並びに著作権者の権利およびこれに隣接する権利に関する諸条約その他知的財産権に関する法令によって保護されています。許諾ソフトウェアは、本契約の条件に従いソニーからお客様に対して使用許諾されるもので、許諾ソフトウェアの著作権等の知的財産権はお客様に移転いたしません。

第2条（使用権）

ソニーは、許諾ソフトウェアを、お客様がお持ちの許諾ソフトウェアに対応したデバイス（以下「指定デバイス」といいます。なお、許諾ソフトウェアが付属または組み込まれたソニーの製品を含みますがこれらに限られません）上で、本契約の条件及びマニュアル等の指示・注意事項に従って使用する、非独占的かつ譲渡不能な権利をお客様に許諾します。

第3条（権利の制限）

1. お客様は、許諾ソフトウェアの全部または一部を複製、複写、配布、譲渡、販売したり、これに対する修正、追加等の改変をすることはできないものとしします。また、許諾ソフトウェアに含まれるトレードマークやその他の権利標記等の表示を削除したり、外観の変更をしてはならないものとしします。
2. お客様は、別途明示的に許諾されている場合を除き、許諾ソフトウェアを再使用許諾、貸与またはリースその他の方法で第三者に使用させてはならないものとしします。
3. お客様は、別途明示的に許諾されている場合を除き、許諾ソフトウェアの一部またはその構成部分を許諾ソフトウェアから分離して使用しないものとしします。
4. お客様は、許諾ソフトウェアを用いて、ソニーまたは第三者の権利もしくは法律上保護される利益（知的財産権、営業秘密、名誉、プライバシー、肖像権、パブリシティ権、所有権を含みますがこれらに限られません）を侵害し、または法令、裁判所の判決その他公的機関による法的拘束力のある処分もしくは公序良俗に反する行為を行ってはならないものとしします。
5. お客様は、許諾ソフトウェアに関しリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとしします。
6. 許諾ソフトウェアの使用に伴い、許諾ソフトウェアが自動的に許諾ソフトウェアで用いるためのデータファイルを作成する場合があります。この場合、当該データファイルは許諾ソフトウェアとみなされるものとしします。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェアに関する著作権等一切の権利は、ソニー、ソニーの関係会社またはソニーが本契約に基づきお客様に対して使用許諾を行うための権利をソニーまたはソニーの関係会社に許諾した原権利者（以下「原権利者」といいます）に帰属するものとし、お客様は許諾ソフトウェアに関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとしします。

第5条（オープンソースソフトウェア）

1. 対象外ソフトウェアには、①ソースコードの形式でまたは無償で公に入手可能なソフトウェアを含むものまたはその派生物であり、かつ②本契約の規定と異なる定め適用を受けるソフトウェア（対象となるソフトウェアおよび

その派生物をソースコードの形式で開示または頒布する義務、対象となるソフトウェアを任意の第三者に対して自由に使用許諾させる義務等を含みますがこれに限られません。また、これには GNU General Public License (GPL) やGNU Lesser/Library General Public License (LGPL)に基づいてライセンスされているソフトウェアが含まれますがこれに限られません。) (以下「オープンソースソフトウェア」といいます) が含まれることがあります。

2. ソニーが開示するオープンソースソフトウェアのソースコードは、 <https://developer.sony.com/develop/open-devices/downloads/open-source-archives>またはその他ソニーの指定するサイトにてご確認ください。オープンソースソフトウェアには、それぞれのオープンソースソフトウェアに該当するライセンス条件が、本契約の代わりに適用されます。

第6条（責任の範囲）

1. ソニーは、許諾ソフトウェア上の広告を含む許諾ソフトウェアからのリンクにより遷移可能な第三者のウェブサイトやサービスに関して、内容等の正確性、安全性その他のいかなる事項についても、明示または黙示を問わず何らの保証も行わないものとし、お客様による当該ウェブサイトやサービスの利用に起因する損害その他の結果について一切責任を負わないものとします。
2. ソニーは、許諾ソフトウェアに関して、エラー、バグ等の不具合がないこと、許諾ソフトウェアが中断なく稼動すること、許諾ソフトウェアの使用がお客様および第三者に損害を与えないことならびに第三者の知的財産権を侵害していないことその他のいかなる事項についても、明示または黙示を問わず何らの保証も行いません。ただし、ソニーは、エラー、バグ等の不具合に対応するため、許諾ソフトウェアのアップデートファイル等の提供による許諾ソフトウェアの修正または当該エラー、バグ等についての問い合わせ先の通知を行うことがあります。本項に定めるアップデートファイル等の提供方法または問い合わせ先の通知方法はソニーがその裁量により定めるものとします。
3. 許諾ソフトウェアの動作や機能が依存する可能性のある、許諾ソフトウェア以外の製品、ソフトウェアまたはネットワーク等サービス（当該製品、ソフトウェアまたはサービスは第三者が提供する場合に限られず、ソニーが提供する場合も含みます）は、当該製品、ソフトウェアまたはネットワーク等サービスの提供者の判断により、その機能等の全部または一部が変更され、または提供や稼働が中断もしくは終了する場合があります。ソニーは、許諾ソフトウェアの動作や機能が依存する可能性のあるこれらの製品、ソフトウェアまたはネットワーク等サービスが、変更、中断なく将来に亘って正常に提供され、稼動することを保証いたしません。
4. 許諾ソフトウェアは、指定デバイスがインターネットに接続している場合に、自動的にアップデートされることがあります。また、アップデートを求める通知がなされ、お客様において手動でアップデートを行っていただく場合もあります。アップデートに伴い、許諾ソフトウェアの機能が追加、変更または削除されることがあります。また、お客様が、自動アップデートの機能を用いない旨設定した場合、または、お客様がアップデートを求める通知に従ってアップデートを行わない場合、当該許諾ソフトウェアの全部または一部の機能が使用できない場合があります。ソニーはアップデートによる機能の変更等やお客様によるアップデートの不実施に起因する支障等に関して、何等の責任も負わないものとします。
5. 本契約の他の規定にかかわらず、ソニーは、その債務不履行または不法行為によりお客様に損害が生じた場合、お客様に通常生じうる損害の範囲内で、かつ、お客様が許諾ソフトウェア、許諾ソフトウェアが付属または組み込まれたソニーの製品または許諾ソフトウェアを用いて利用するソニーのサービスのために支払った金額の合計額を上限として、これを賠償する責任を負うものとし、特別な事情から生じた損害その他の結果（発生を予見または予見し得た場合を含みます）については一切責任を負わないものとします。ただし、ソニーは、その故意または重大な過失による債務不履行または不法行為に起因してお客様に生じた損害に対する賠償責任については、免責されないものとします。
6. 許諾ソフトウェアや付随するサポート等は、本契約に基づき、ソニーからお客様に対して提供されるものであり、ソニーの関係会社や原権利者は、法令上別段の定めがある場合およびソニーの関係会社や原権利者がお客様と別段の合意をした場合を除き、許諾ソフトウェアや付随するサポート等に関してお客様に対し一切責任を負わないものとします。

第7条（用途の限定）

許諾ソフトウェアは、高度の安全性が要求され、許諾ソフトウェアの不具合や中断が生命、身体への危険、有体物または環境に対する重大な損害に繋がる用途（例えば、原子力発電所を含む核施設の制御、航空機の制御、通信システム、航空管制、生命維持装置または兵器）を想定しては設計されていません。ソニーは、許諾ソフトウェアがこれら高度の安全性が要求される用途に合致することを一切保証いたしません。

第8条（第三者に対する責任）

お客様が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で権利侵害その他の事由により紛争が生じたときは、お客様自身が自らの費用と責任で解決するものとし、ソニー、ソニーの関係会社および原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第9条（知的財産権保護）

お客様は、許諾ソフトウェアの使用に際し、日本国内外の著作権法並びに著作権者の権利およびこれに隣接する権利に関する諸条約その他知的財産権に関する法令に従うものとします。また、許諾ソフトウェアが著作物等の複製、保存および復元等の機能を有する場合、ソニーは、著作物等に関する知的財産権の保護に必要な範囲で、複製、保存および復元等機能の制限その他必要な措置をとることができるものとします。

第10条（ネットワークサービス）

許諾ソフトウェアは、通信事業者等が提供するネットワークサービスやインターネット接続サービス、その他のネットワークサービス（以下これらを総称して「ネットワークサービス」といいます）の利用を想定している場合があります。ネットワークサービスを利用するにあたっては、当該ネットワークサービスの利用条件に従っていただく必要があります。ネットワークサービスを利用されない場合、許諾ソフトウェアの動作や機能は限定的なものとなる場合があります。許諾ソフトウェアの利用に必要なネットワーク環境の整備、セキュリティおよびその費用についての責任はお客様にあるものとします。なお、許諾ソフトウェアの動作や機能は、ネットワーク環境により限定的なものとなる場合があります。また、ネットワークサービスの内容変更、提供の中断もしくは終了またはネットワーク環境等により、許諾ソフトウェアと共に使用されるコンテンツ等が利用できなくなる場合があります。

第11条（契約の終了）

1. ソニーは、お客様が本契約に定める条項に違反した場合、直ちに本契約を解約し、またはそれによって蒙った損害の賠償をお客様に対し請求できるものとします。
2. 前項またはその他の事由で本契約が終了した場合でも、第4条から第15条の規定は有効に存続するものとします。

第12条（許諾ソフトウェアの削除等）

前条その他の事由により本契約が終了した場合、お客様は、合理的に可能な限り、契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェアおよびその複製物を削除するものとし、ソニーが求めるときはその旨を証明する文書をソニーに差し入れるものとします。

第13条（契約の改定）

ソニーは、法令で認められた範囲において、本契約を随時改定することができるものとします。ソニーは、改定後の本契約の適用開始に先立ち、改定内容等に照らしてソニーが合理的と判断する事前告知期間を設定したうえで（ただし、本契約の改定内容がお客様の一般の利益に適合するものである場合は事前告知期間を定めないのであるものとします）、改定後の本契約の条件をお客様が登録した電子メールアドレスへの電子メールの発信、ソニー所定のサイトでの告知又はその他ソニーが適切と判断する方法をもってお客様に周知いたします。

第14条（ユーザー登録の抹消等）

1. お客様が、指定デバイスを譲渡または破棄する場合、または本契約が終了した場合には、お客様は、合理的に可能な限り、指定デバイス内の許諾ソフトウェアを削除し、指定デバイスを通じて取得したアカウントを消去することによりユーザー登録を抹消するものとします。
2. お客様は、指定デバイスを通じて取得したアカウント、ユーザーネーム、パスワードに関する情報の秘密保持について一切の責任を負うものとします。

第15条（その他）

1. 本契約は、日本国法に準拠するものとします。
2. お客様は、許諾ソフトウェアを日本国外に持ち出して使用する場合、適用ある輸出管理規制、法律、命令に従うものとします。
3. 本契約は、消費者契約法を含む消費者保護法規によるお客様の権利を不利益に変更するものではありません。
4. 本契約の一部条項が法令によって無効となった場合でも、当該条項は法令で有効と認められる範囲で依然として有効に存続するものとします。
5. ソニーの関係会社および原権利者は本契約の第三受益者として取り扱われるものとし、関連する本契約上の権利を直接行使しあるいは免責等を援用することができるものとします。
6. 本契約に定めなき事項または本契約の解釈に疑義を生じた場合は、お客様およびソニーは誠意をもって協議し、解決するものとします。お客様とソニーとの間に本契約に関連して訴訟の必要が生じた場合、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

以上

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

輸出管理規制について

本機および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本機および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

The products and accessories may be subject to the application of the Foreign Exchange and Foreign Trade Act and other related laws and regulations in Japan.

In addition, the Export Administration Regulations (EAR) of the United States may be applicable.

In cases of exporting or reexporting the products and accessories, customers are requested to follow the necessary procedures at their own responsibility and cost.

Please contact the Ministry of Economy, Trade and Industry of Japan or the Department of Commerce of the United States for details about procedures.

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

おサイフケータイ対応サービスご利用上の注意

お客様によるおサイフケータイ対応サービスのご利用に際しては、以下の事項に同意していただきます。

おサイフケータイ対応サービスについて

1. おサイフケータイ対応サービス（以下、「対応サービス」といいます。）とは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用いた、電子マネーやポイントなどのサービスの総称です。NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。FeliCaを含む非接触ICカード機能やリーダー／ライター（R/W）機能などがご利用いただけます。
2. 対応サービスの利用にあたり、FeliCaチップが搭載された端末（以下、「対応端末」といいます。）で、ご利用になりたいサービスプロバイダのおサイフケータイ対応アプリ（以下、「対応アプリ」といいます。）のダウンロード、またはサイトへのアクセスをする必要があります。
3. 対応サービスの利用にあたり、お客様はサービスの提供責任者である各サービス提供者との間で当該対応サービスの利用契約を締結する必要があります。また、対応サービスの内容および提供条件等について、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
4. 対応サービスのご利用にあたっては、製品に搭載されたFeliCaチップへ、サービスのご利用に必要なデータ（電子マネーやポイントのバリューを含む）を書き込む場合があります。

FeliCaチップ内のデータについて

1. FeliCaチップ内のデータの使用、管理、および消去等については、お客様ご自身の責任により行っていただきます。
2. FeliCaチップ内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各対応サービス提供会社にお問い合わせください。
3. 対応端末の故障修理、盗難紛失等、いかなる場合においても、当社はFeliCaチップ内のデータの移行や復旧はできませんのであらかじめご了承ください。
4. 対応サービス提供者によっては、機種変更や故障などに備え、FeliCaチップ内のデータを新しい対応端末に移行、または故障修理後の対応端末に再発行する等のサポート（以下「データ移行・再発行等のサポート」といいます。）を提供している場合があります。対応サービス利用の際には、事前にデータ移行・再発行等のサポートの有無、およびその提供条件について各サービス提供者にご確認ください。
5. FeliCaチップ内のデータ移行・再発行等のサポートの無い対応サービスを選択した場合、データ移行・再発行等のサポートを利用しなかった場合、または利用した当該サポートが正常に実施できなかったためにデータ移行・再発行等が行われなかった場合に、お客様に生じた損害について、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
6. FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態に対応端末の修理を行うことはできません。対応端末の故障・修理の場合は、データ移行・再発行等のサポートをご利用のうえFeliCaチップ内のデータを新しい対応端末に移行、または故障修理後の対応端末に再発行する手続きを取っていただき、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
7. 対応端末を譲渡する場合、事前にFeliCaチップ内のデータをお客様ご自身で削除または移行してください。FeliCaチップ内のデータを削除または移行しなかったことによりお客様に生じる損害について、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

盗難・紛失について

1. お客様が対応端末を盗難・紛失した場合、FeliCaチップ内のデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、盗難・紛失には十分ご注意ください。
2. FeliCaチップ内のデータが不正利用されたことによりお客様に損害が生じた場合であっても、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
3. 対応端末を盗難・紛失された場合、当社ではFeliCaチップの機能を停止させることはできません。盗難・紛失時の対処方法については各対応サービス提供者にお問い合わせください。

4. 万一の対応端末の紛失・盗難等に備え、ご利用前におサイフケータイのロックを設定されることを推奨します。ロックの方法は取扱説明書をご確認ください。ただし、ロックの機能をご利用いただいた場合でも、FeliCaチップ内のデータの不正利用等を完全に防止できるとは限りませんのであらかじめご了承ください。

FeliCaチップ固有の情報について

1. 対応サービスによっては、お客様の対応端末に搭載されたFeliCaチップを特定するために、FeliCaチップの固有の番号が本対応サービス対応端末から当該サービス提供者に通知される場合があります。
2. 当社は、サービス提供者が対応サービスを提供するにあたり必要且つ契約の範囲内で、お客様のFeliCaチップ固有の番号と、当社によるFeliCaチップ内のデータの完全消去およびFeliCaチップの廃棄についての情報をサービス提供者に通知する場合があります。

サービス提供者の提供する対応アプリ、サイトについて

1. 対応サービスの利用、対応アプリのダウンロード、ネットワーク接続機能を有する対応アプリやサイトの利用には、通信料が発生する場合があります。
2. 対応サービスのご利用開始後に対応端末の契約名義又は電話番号の変更があった場合等、当該対応サービスのご利用及びお客様ご自身でのFeliCaチップ内データの削除ができなくなることがあります。なお、当該対応サービスのFeliCaチップ内のデータを削除する場合は、あらかじめ当社により当該対応端末に搭載されたFeliCaチップ内の全てのデータを消去する必要がありますのでご了承ください。
3. 電池残量がなくなった場合、対応サービス及びNFC機能がご利用いただけない場合があります。
4. 機内モード設定中は、対応サービス及びNFC機能がご利用いただけない場合があります。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

第三者が提供するサービス・アプリ

ヘルプガイドでは、第三者が提供するサービスやアプリについて言及する場合があります。上記サービスやアプリを使用するには、提供元への登録やライセンス契約が別途必要になる場合があります。第三者のWebサイトでアクセスしたアプリについては、当該Webサイトの利用規約と適用されるプライバシーポリシーを予めご確認ください。当社は、第三者のWebサイトやサービス、アプリの利用可能性またはパフォーマンスについて保証はいたしません。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本機を利用して撮影またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本機を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

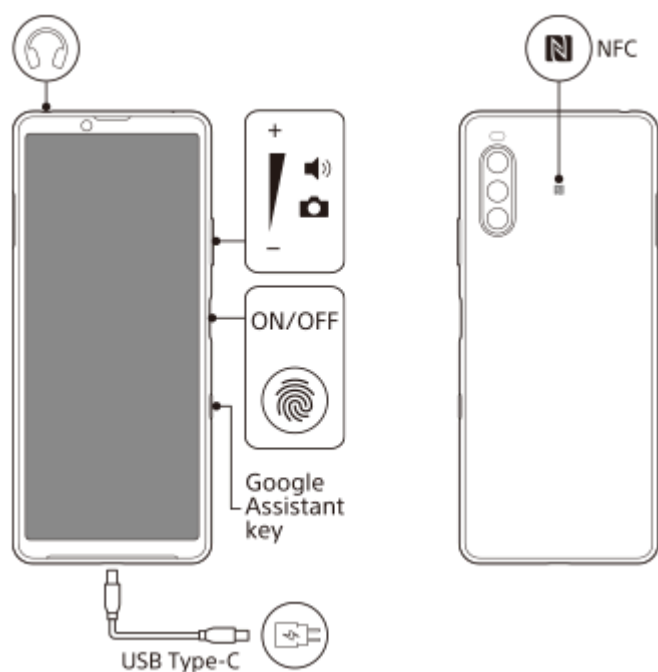
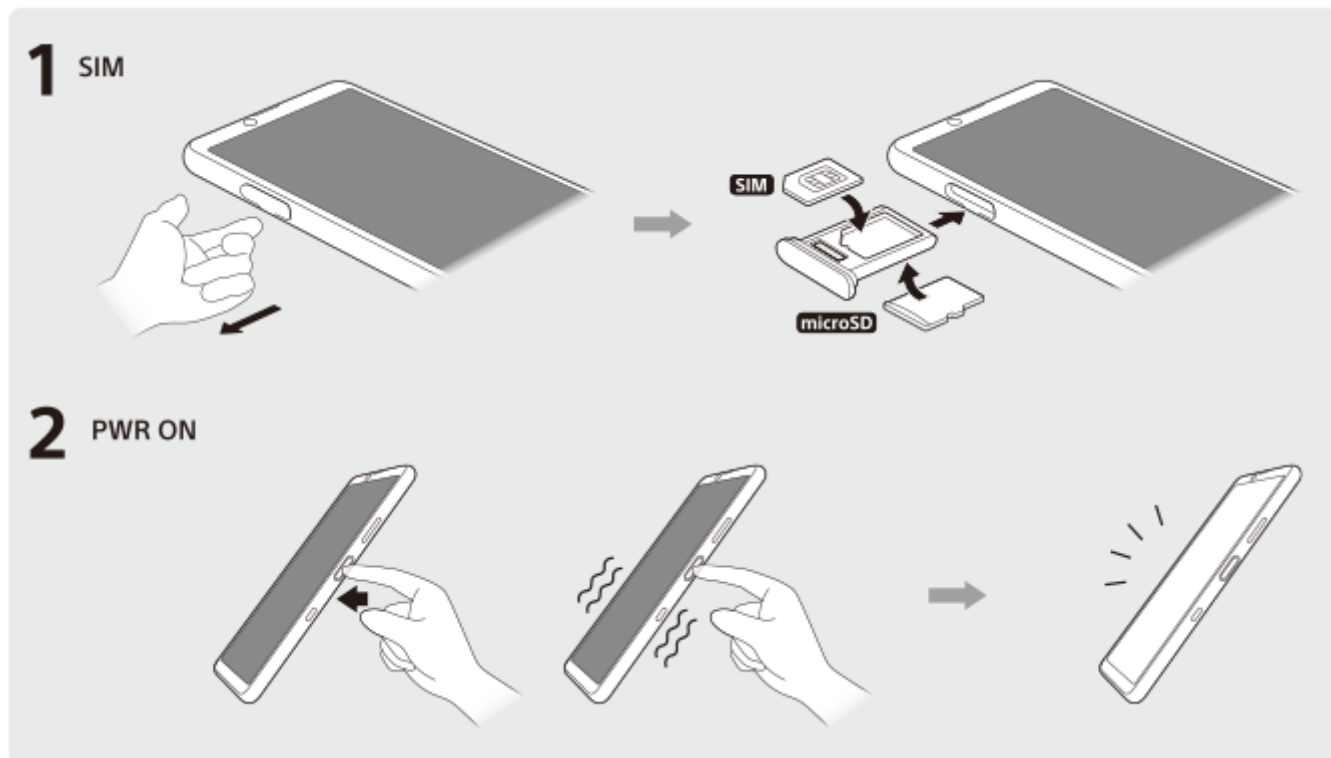
ヘルプガイドに記載された商品および会社名はすべて各所有者の商標または登録商標です。ヘルプガイドに明示されていない他の権利についても留保されるものとします。その他の商標はすべて各所有者に帰属します。詳細については、<https://xperia.sony.jp/legal/trademarks-and-copyright/> をご覧ください。

本製品は、MPEG-4ビジュアルおよびAVC特許ポートフォリオライセンスのもとで、消費者が商業目的以外で個人的に使用するために提供されており、次の用途に限定されます。(i) MPEG-4ビジュアル標準（以下「MPEG-4ビデオ」）またはAVC規格（以下「AVCビデオ」）に準拠したビデオのエンコード、および／または(ii) 商業目的以外の個人的な活動に従事している消費者によってエンコードされたMPEG-4またはAVCビデオのデコード、および／または、MPEG-4またはAVCビデオの提供をMPEG LAによってライセンス許可されているビデオプロバイダから入手したMPEG-4またはAVCビデオのデコード。その他の用途に対するライセンスは許諾されず、黙示的に許可されることもありません。販売促進目的、内部目的および商業目的の使用およびライセンス許可に関する追加情報は、MPEG LA, LLCより入手できます（<https://www.mpegla.com>を参照）。MPEGレイヤー3オーディオデコード技術は、Fraunhofer IIS and Thomsonによってライセンス許可されます。

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

Startup guide



Legal information

This Startup guide is published by Sony Corporation or its local affiliated company, without any warranty. Improvements and changes to this Startup guide necessitated by typographical errors, inaccuracies of current information, or improvements to programs and/or equipment, may be made by Sony Corporation at any time and without notice. Such changes will, however, be incorporated into new editions of this Startup guide. All illustrations are for illustration only and may not accurately depict the actual device.

All product and company names mentioned herein are the trademarks or registered trademarks of their respective owners. Any rights not expressly granted herein are reserved. Visit <https://www.xperaiinfo.com/> for more information.

To view the regulatory compliance mark

- Find and tap Settings > About phone > Certificates.

A regulatory compliance mark such as an FCC ID is displayed on the screen.

©2021 Sony Corporation

F-412-100-02(1) Copyright 2021 Sony Corporation

Radio Wave Exposure and Specific Absorption Rate (SAR) Information

Radio Frequency (RF) exposure and Specific Absorption Rate (SAR)

When the phone or Bluetooth handsfree is turned on, it emits low levels of radio frequency energy. International safety guidelines have been developed through periodic and thorough evaluation of scientific studies. These guidelines establish permitted levels of radio wave exposure. The guidelines include a safety margin designed to assure the safety of all persons and to account for any variations in measurements. Specific Absorption Rate (SAR) is used to measure radio frequency energy absorbed by the body when using a mobile phone. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but because the phone is designed to use the minimum power necessary to access the chosen network, the actual SAR level can be well below this value. There is no proof of difference in safety based on difference in SAR value.

Products with radio transmitters sold in the US must be certified by the Federal Communications Commission (FCC). When required, tests are performed when the phone is placed at the ear and when worn on the body. For body-worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

For more information about SAR and radio frequency exposure, go to: <https://xperia.sony.jp/product/SAR/>

Important Information United States

THIS PHONE MODEL HAS BEEN CERTIFIED IN COMPLIANCE WITH THE GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

This mobile phone model XQ-BT44 has been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. Your wireless phone is a radio transmitter and receiver. It is designed to not exceed the limits* of exposure to radio frequency (RF) energy set by governmental authorities. These limits establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by international scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a safety margin designed to assure the safety of all individuals, regardless of age and health. The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands. While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves.

The highest SAR value as reported to the authorities for this phone model when tested for use by the ear is 0.56 W/kg*, when worn on the body is 0.52 W/kg* and when WiFi hotspot mode is 0.96 W/kg. For body-worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 15 mm from the body.

For devices which include "WiFi hotspot" functionality, SAR measurements for the device operating in WiFi hotspot mode were taken using a separation distance of 10 mm.

Use of third-party accessories may result in different SAR levels than those reported.

** Before a phone model is available for sale to the public in the US, it must be tested and certified by the Federal Communications Commission (FCC) that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure*. The tests are performed in positions and locations (i.e., by the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The FCC has granted an Equipment Authorization for this phone model with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. While there may be differences between the SAR levels of various phones, all mobile phones granted an FCC equipment authorization meet the government requirement for safe exposure. SAR information on this phone model is on file at the FCC and can be found under the Display Grant section of

<https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid> after searching on FCC ID PY7-63649Q. Additional SAR-related information can also be found on the Mobile and Wireless Forum at <https://www.mwfai.org/>.

* In the United States, the SAR limit for mobile phones used by the public is 1.6 watts/kilogram (W/kg) averaged over one gram of tissue. The standard incorporates a margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

** This paragraph is only applicable to authorities and customers in the United States.

F-412-100-02(1) Copyright 2021 Sony Corporation

スマートフォン

Xperia 10 III Lite XQ-BT44

FCC Statement for the USA

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any change or modification not expressly approved by Sony may void the user's authority to operate the equipment.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.